

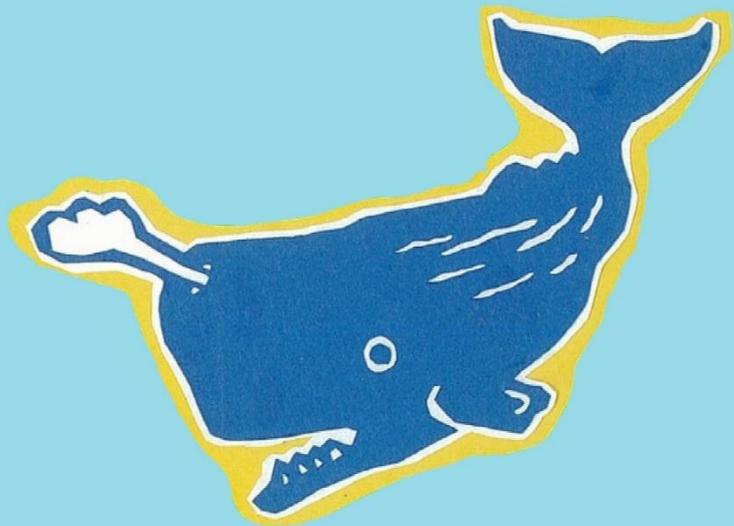
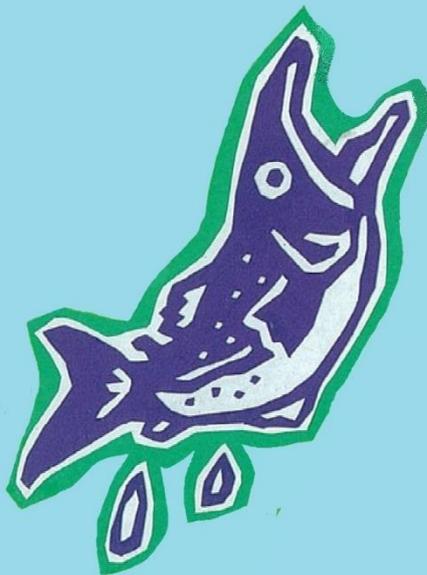
小学校 3 ~ 6 年生用

# 羅臼町副読本



# 知床学

Shiretoko Studies



羅臼町教育委員会

# もくじ

1	羅白の町の様子		6	健康なくらしとまちづくり	
(1)	学校のまわりの様子	2	(1)	ごみはどこへ	78
(2)	羅白町の概要	9	(2)	くらしと水	82
2	北海道・根室管内と羅白町		7	羅白町のはじまり	
(1)	羅白町のあるところ	19	(1)	大昔の羅白	85
(2)	北海道の地図を広げて	26	(2)	江戸時代の羅白	85
3	羅白町の産業		(3)	明治以降の羅白	87
(1)	羅白町の水産業	49	(4)	村の誕生	87
(2)	羅白町の酪農業	51	(5)	羅白の発展	88
(3)	羅白町の観光業	53	(6)	羅白の漁業	90
4	町内にあるいろいろな施設		(7)	羅白の農業	93
(1)	政治を行う施設	55	(8)	羅白の交通と通信	94
(2)	学ぶための施設	57	(9)	明治・大正・昭和のころの生活	95
(3)	体力をつけ運動を楽しむための スポーツ施設	60	(10)	調べてみよう～明治大正昭和時代の の道具	98
(4)	健康で安全な生活を守るための 施設	62			
(5)	生活を楽しむための施設	66			
5	安全なくらし				
(1)	交通事故をふせぐ	70			
(2)	火事をふせぐ	71			
(3)	地震にそなえる	74			
(4)	雪にそなえる	75			



わたしたちのまち、<sup>らうすちよう</sup>羅臼町について<sup>がくしゅう</sup>学習していきましょう。

<sup>らうすちよう</sup>羅臼町といっても<sup>ひろ</sup>広いので、まず、<sup>じぶん</sup>自分の<sup>こうく</sup>校区から<sup>しら</sup>調べてみましょう。



# Ⅰ 羅白の町の様子

わたしたちは、自分たちの住む羅白町について学習することになりました。

羅白町は海岸線に沿って広がっているので、まずは自分たちの校区について調べることになりました。

## (1) 学校のまわりの様子

### ① 羅白小学校のまわりの様子

羅白小学校のまわりは知床峠に続く国道が町の中央を流れる羅白川に沿って続いています。その道路沿いに多くの建物が立ち並び、市街地となっています。

羅白川の両岸は広い谷になっており、その谷に沿って市街地が作られているとも言えるでしょう。そのため、市街地は小高い山々に挟まれているのです。

学校のまわりの様子を詳しく知るために、学校の屋上にのぼってみました。

羅白小学校は高いところに立っているため、まちの様子がよくわかります。

がっこう おくじょう のぼ  
学校の屋上に上ると、どのような風景が見えるだろう。

はじめに北のほうを見てみます。羅臼川をはさんで、街並みが見えます。

かせんしき らうすちやうやくば しがいち  
河川敷のそばには羅臼町役場、市街地を

はさむ山のふもとには神社、羅臼川をは

さんで町並みが見えます。また、山の斜面

を削った場所に建てられている知床未来

中学校も見えます。よく晴れた日には知

床連峰の最高峰「羅臼岳」が美しくそびえる姿が見えます。



みなみ ほう み おお みんか なら  
南の方を見ると、多くの民家が立ち並

んでおり、海岸線を走る国道が見えます。



ひがし ほう み ひろ ねむろかいきやう  
東の方を見ると、広がる根室海峡と

たくさんの漁船が停泊する「羅臼漁港」、

季節や時間によっては漁の真っ最中の

漁船が海を走る様子も見られます。また、

海の向こうには北方領土の「国後島」も

間近に見えます。



あき お 秋の終わりから冬にかけて ふう 営まれている「イカ漁」のまぶしく 美しいラ  
イトは ราวすちょう めいぶつ 羅臼町の名物です。また、2月頃には海をうめつくすほどの流氷が  
おしよせます。

にし ほう み 西の方を見ると ราวすがわ 羅臼川をはさむ こだか やま 小高い山がせまっています。

このように、ราวすしょうがっこう 羅臼小学校のまわりは主

うみ やま かこ に海と山に囲まれており、ราวすがわ かいがんせん 羅臼川や海岸線

そ しがいち ひろ に沿って市街地が広がっていることがわ

かります。



ราวすしょうがっこう 羅臼小学校は、1893年（明治26年）10月、にしけんせい 西井賢誠という人が読み・書

き・算術を教えたのが始まりです。その後、1897年（明治30年）に ราวすしょうがっこう 小学校

として認められました。



「それぞれの方角のコースはどんな様子なのか調べてみたいな。」

わたしたちは、屋上から見えない部分を詳しく調べるために、探検に行くことにしました。

調べたことを白地図にまとめて、場所により建物や交通のちがいがああるか、考えてみましょう。

## ② 春松小学校のまわりの様子

学校から東の方角を見ると国後島が見えます。右の手前には泊山、左の奥には、羅臼山が見えています。

国後島は日本がロシアに返還

要求をしている北方領土の一つ

です。国後島と知床半島の間の

海を根室海峡といいます。根室

海峡は暖流と寒流の両方が流れ込み、とても豊かな漁場になっています。



南の方と反対の北の方は景色が似ていま

す。平らな土地がほとんどなく、海まで山がせ

まっているのがわかります。山の斜面はそのまま

ま海の底まで続いています。根室海峡の深い



ここでは、2,500m を超えます。この急峻

な地形は知床半島の特徴でもあります。



西の方はすぐ近くまで山がせまっています、

屏風のような岩肌を間近に見ることができま

す。冬には近くの木にオオワシやオジロワシが

とまっていることがあります。



春松小学校は麻布町に春荊古丹簡易教育所として1900年(明治33年)

にできました。現在の八木浜町に移ったのは1935年(昭和10年)になって

からです。



### ③閉校した学校

かつて羅臼町には5つの小学校がありました。

#### ア 植別小学校（羅臼町峯浜町）

植別小学校は1903年（明治36年）に

開校し、2010年（平成22年）3月に春

松小学校に統合するかたちで閉校しま

した。翌年の平成23年からは「羅臼町

郷土資料館」として利用されています。



#### イ 知円別小学校（羅臼町岬町）

知円別小学校は1915年（大正4

年）に羅臼小学校特別教授場とし

て開校しました。閉校は2008年で、

羅臼小学校に統合になりました。



#### ウ 飛仁帯小学校（羅臼町海岸町）

飛仁帯小学校は、1947年（昭和22

年）に羅臼小学校飛仁帯特別分教

場として開校しました。



この地区では 1960年（昭和35年）にトビ  
ニタイ式土器が出土したことで知られて  
います。植別小学校と同じ年の2010年（平成  
22年）に羅臼小学校に統合し、閉校しまし  
た。

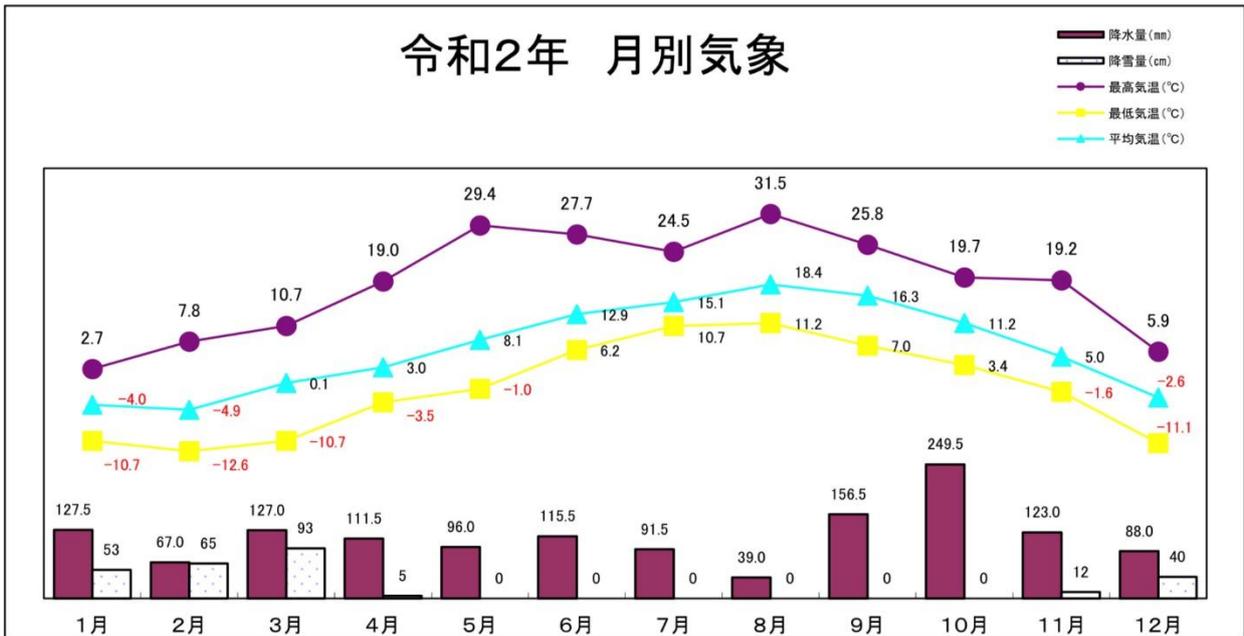


↑トビニタイ式土器

## (2) 羅白町の概要

### ① 気候

次のグラフや表は、何を表したものでしょうか。グラフや表から読み取ってみましょう。



		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
風速	最大(m/s)	12.5	18.3	14.3	11.5	14.3	8.5	5.6	8.4	9.1	12.2	14.9	15.6
	平均(m/s)	2.8	2.4	2.5	2.2	2.3	1.8	1.6	2.0	2.3	2.9	2.9	2.8
日照時間(h)		73.6	96.9	136.8	136.8	149.4	106.5	78.3	99.6	72.2	109.5	70.3	57.4

(資料: 気象庁ホームページ)

(注意) 最高気温及び最低気温は、当該月の極値である。

羅白 平均気温6.1℃ 年間降水量1657.1mm 統計期間2005~2020

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
気温	-4.5	-4.8	-1.1	2.9	7.8	11.5	15.4	17.8	15.7	10.1	4.1	-1.4
降水量	89.7	66.6	93.9	111.7	144.0	119.4	125.4	200.5	204.7	214.1	150.7	133.8

お せん あらわ 折れ線で表されているのは気温です。きおん ぼう あらわ 棒で表されているのは降水量です。こうすいりょう

よ と 読み取れることを ( ) に書き込みましょう。か こ

• 1年間ねんかんで月つきの平均気温へいきんきおんが一番高いいちばんたかのは ( ) 月がつで、およそ ( ) °C です。

• 1年間ねんかんで月つきの平均気温へいきんきおんが一番低いいちばんひくのは ( ) 月がつで、およそ ( ) °C です。

• 月平均気温つきへいきんきおんの最高気温さいこうきおんと最低気温さいていきおんの差さは ( ) °C です。

• 1年間ねんかんで月つきの降水量こうすいりょうが一番多いいちばんおおのは ( ) 月がつで、およそ ( ) mm です。

お せん ほか よ と 折れ線グラフから他に読み取れることは何なんだろう。

ヒント：季節きせつごとの違いちが。他の都市ほか としとの比較ひかく。

---

---

---

---

---

---

---

---

しれとこほんとう りょうせん さかい しやりがわ らうすがわ きこう おお こと  
知床半島は稜線を境として、斜里側と羅臼川とでは気候が大きく異なります。  
しやりがわ なつ あつ りゅうひょう かいめん おお ふゆ さむ きび  
斜里側では夏は暑く、流氷で海面が覆われる冬の寒さは厳しいのですが、  
らうすがわ なつ すず ふゆ さむ しやりがわ  
羅臼側では夏は涼しく、冬の寒さは斜里側ほどではありません。

それでもふゆ ひ こ きび さいこうきおん ど たか ま  
それでも冬の冷え込みは厳しく、最高気温が0℃よりも高くない「真  
ふゆび つづ じき  
冬日」が続くこともあります。この時期になるとオジロワシやオオワシが飛ん  
できたり、トドの群れがやってきました。

なつ ほんしゅう くら すず きこう がつ さいこうきおん ど  
夏の本州に比べるとかなり涼しい気候です。7～8月でも最高気温が25℃  
こ なるび ひ  
を超える「夏日」になる日は、ほとんどありません。

どうとう い くしろちほう ねむろちほう ほっかいどう ゆき すく ちいき  
「道東」と言われる釧路地方や根室地方は、北海道でも雪の少ない地域です  
らうすちよう ゆき ふ ほか つよ かぜ ふ とくちょう  
が、羅臼町はたくさんの雪が降ります。この他、強い風が吹きやすいのも特徴  
です。

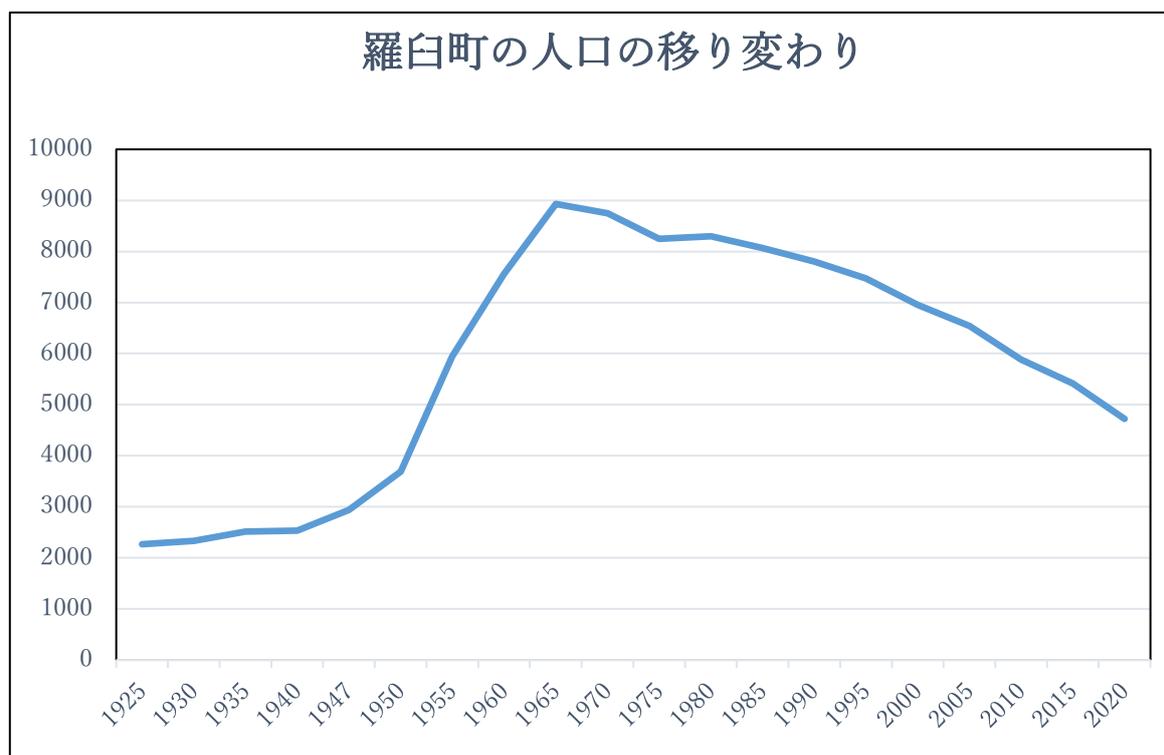


しれとこほんとう  
知床半島

## ②人口移り変わり

下のグラフは羅臼町の人口の移り変わりを表しています。

グラフから読み取れることをまとめましょう。



羅臼町の人口の変化をしてみると、1955年(昭和30年)ころから急に増えています。これは、そのころ不漁が続いていた道南地方(函館の方)から、多くの方が仕事を求めてやってきて、住み着くようになったからです。しかし近年は、人口が減少しています。1970年(昭和45年)には、8,700人以上が住んでいましたが、2022年(令和4年)には約4,500人になりました。

### ③ 産業の様子

次の表は、羅臼町で働く人々の数と仕事の種類を表したものです。

【2020年（令和2年）】

		令和2年		
		全員の数	男の人の数	女の人の数
総数		2,829	1,628	1,201
第1次産業		1,101	752	349
	農業	30	16	14
	林業・狩猟業	2	2	0
	漁業	1,069	734	335
第2次産業		450	258	194
	鉱業	1	1	0
	建設業	139	119	20
	製造業	310	136	174
第3次産業		1,213	585	628
	卸・小売業	246	98	148
	金融・保険業・不動産業	25	10	15
	運輸・通信業	110	76	34
	電気・ガス・水道業	4	2	2
	サービス業	666	264	402
	公務員	162	135	27
分類不能の産業		65	35	30

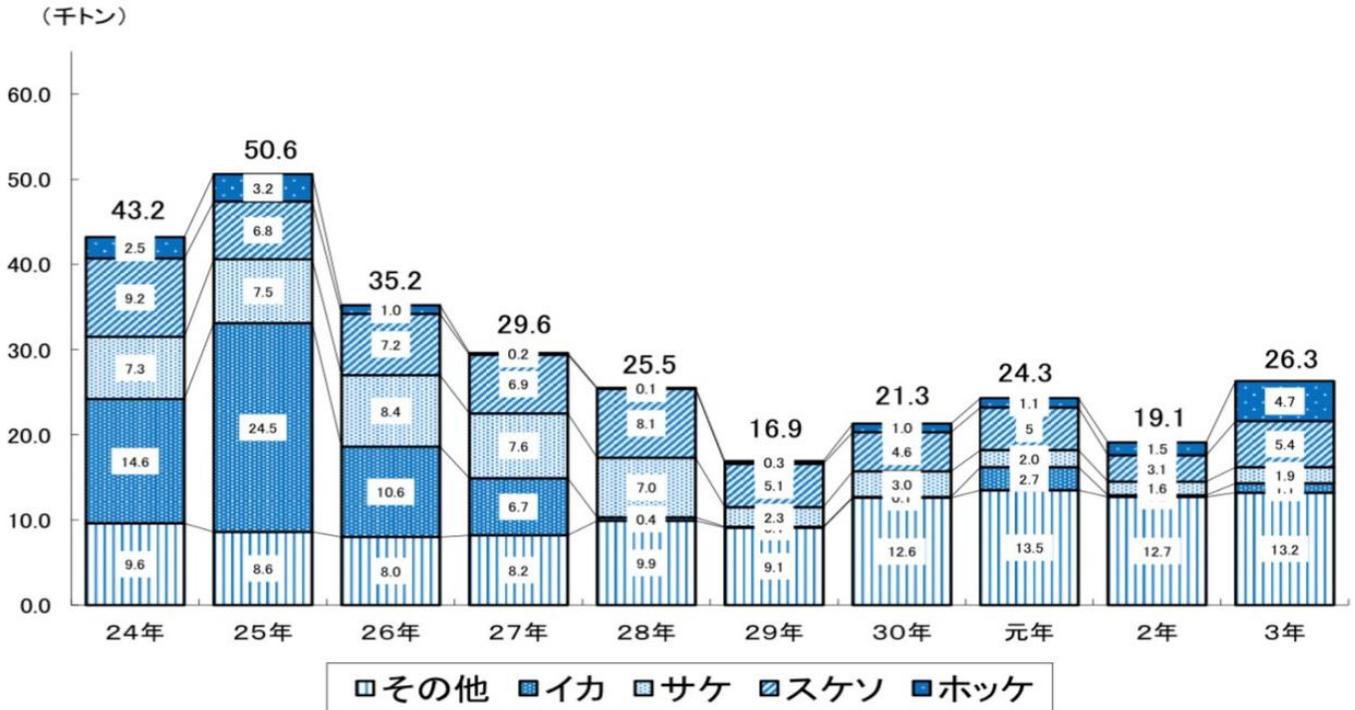
人数が多いほど、その産業が盛んであることを示します。

羅臼町は漁業が盛んな町であることがわかります。加工などもあわせると、

羅臼町で働く人の半分以上が水産関連の仕事についています。

では、どんな魚が、どのくらい獲れているでしょうか。

## 主要魚種水揚量過去10カ年の推移



グラフは魚種ごとにどれだけの量が獲れたのかを表しています。量の多

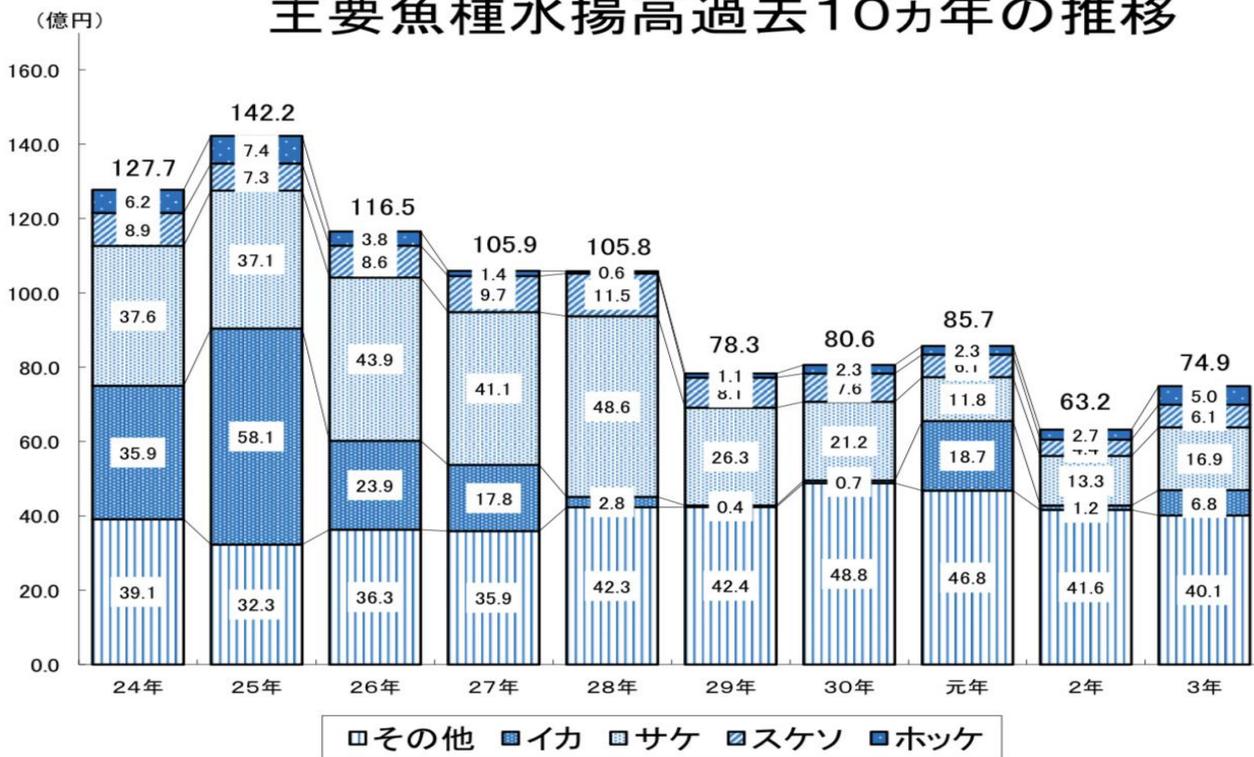
い順に3つ言いましょう。

→  →

つぎ  
次のグラフは「漁獲高」といって、どのくらい売れたのかが金額で表されて

います。金額の多い順に3つ言いましょう。

## 主要魚種水揚高過去10カ年の推移



2つのグラフを比べて気づいたことは何だろう。

---



---



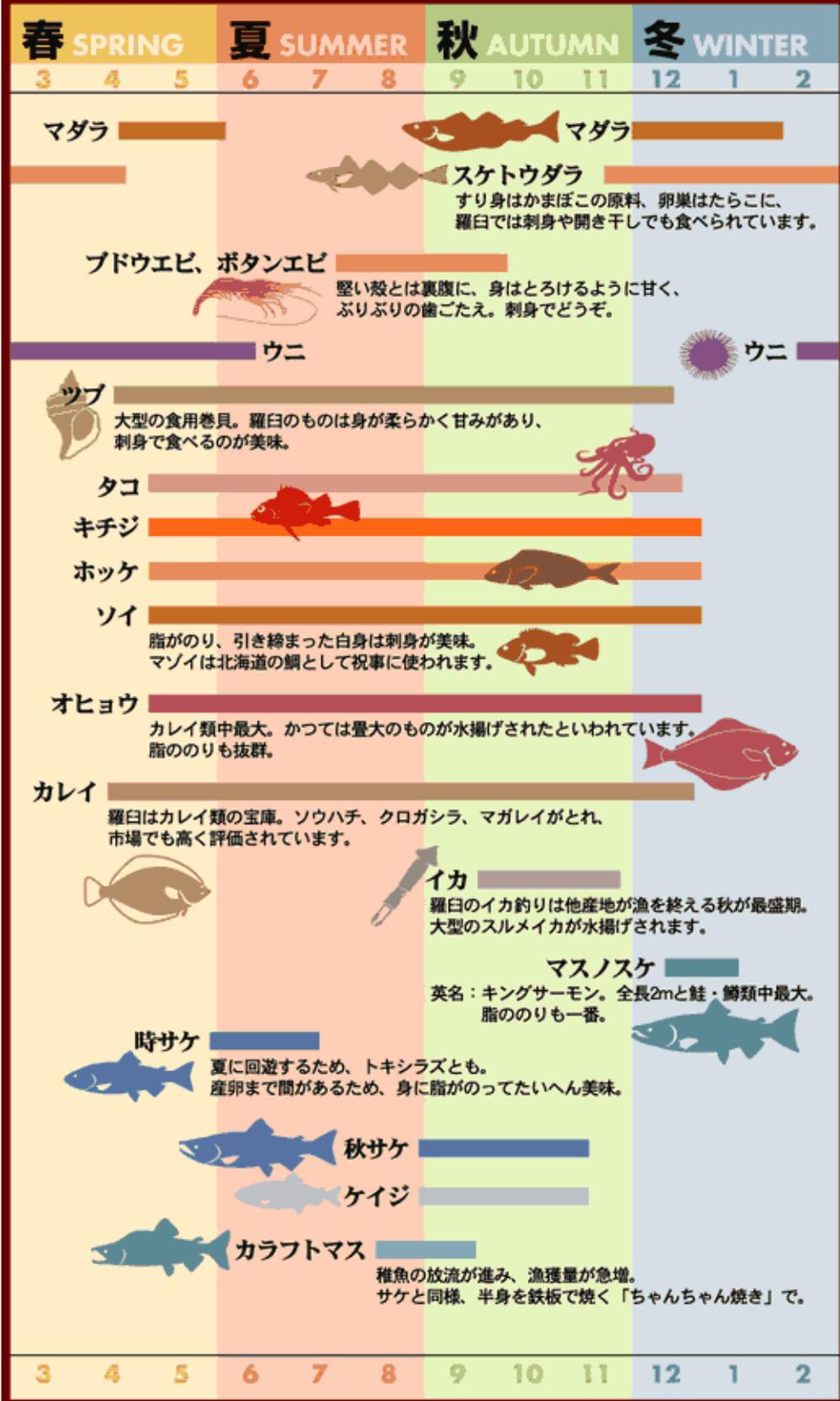
---



---

# 羅臼の魚ごよみ

出典：「羅臼産鮮」羅臼漁業協同組合



どんな道具を使って獲るのかな？調べてみよう。

#### ④ 羅白漁港では

漁港ではウニ、ホッケ、キンキ、ブドウエビ、サケなど、新鮮な旬の魚介類が年間を通して水揚げされています。

羅白の前浜で水揚げされた秋サケの中から目利きの漁師が厳選した希少な

銀毛鮭のオスは、知床羅白銀毛鮭

「羅皇」と名付けられ、羅白ブラ

ンドの知名度向上に貢献してい

ます。また、年間に数百匹しか

と獲れない脂ののった若いシロザ

ケ「鮭見」は、ピンタッグと羅白

漁業協同組合の証明書付きで

提供されるめずらしい食材としてテレビ番組やマスコミにも取り上げられ

るなど、話題になっています。「羅白昆布」は濃厚なだしがとれることから「だ

しの王様」とも言われる最高級品です。



## ⑤ ぎょぎょうきょうどうくみあい しごと 漁業協同組合の仕事

さかな と しごと ひと はたら らうすぎょぎょうきょうどうくみあい おお  
魚を獲る仕事をする人が働きやすいように、羅臼漁業協同組合では大き  
く6つの仕事をしています。



- ① みずあ げられた さかな をセリにかけてる。
- ② ぎょぎょうけん かんり 漁業権の管理。
- ③ さかな こんぶ などの あか ちゃんを育てる。
- ④ ふね ねんりょう や ゴム手袋など 漁に必要なものを売ったり、こんぶ さかな かの 買  
て 手が探したりする。
- ⑤ お金をあずかったり、かしたりする。
- ⑥ その他のたくさんの仕事。



ぎょぎょうきょうどうくみあい ひろ  
漁業協同組合は、はば広く  
しごと  
仕事をてがけて、らうす  
ぎょぎょう  
漁業をささえているんだ  
よ。

しれとこ せんたい  
知床らうす鮮隊

ラウフィッシャー

どうたい みぎて ひだりて  
胴体はホッケ、右手はキンキ、左手はスケソ  
ウダラ、みぎあし 左足はマダラ、あきさけ  
アキサケ、そしてエ  
プロンはらうすこんぶ  
プロンは羅臼昆布！

ほっかいどう ねむろかんない らうすちよう  
2 北海道・根室管内と羅臼町

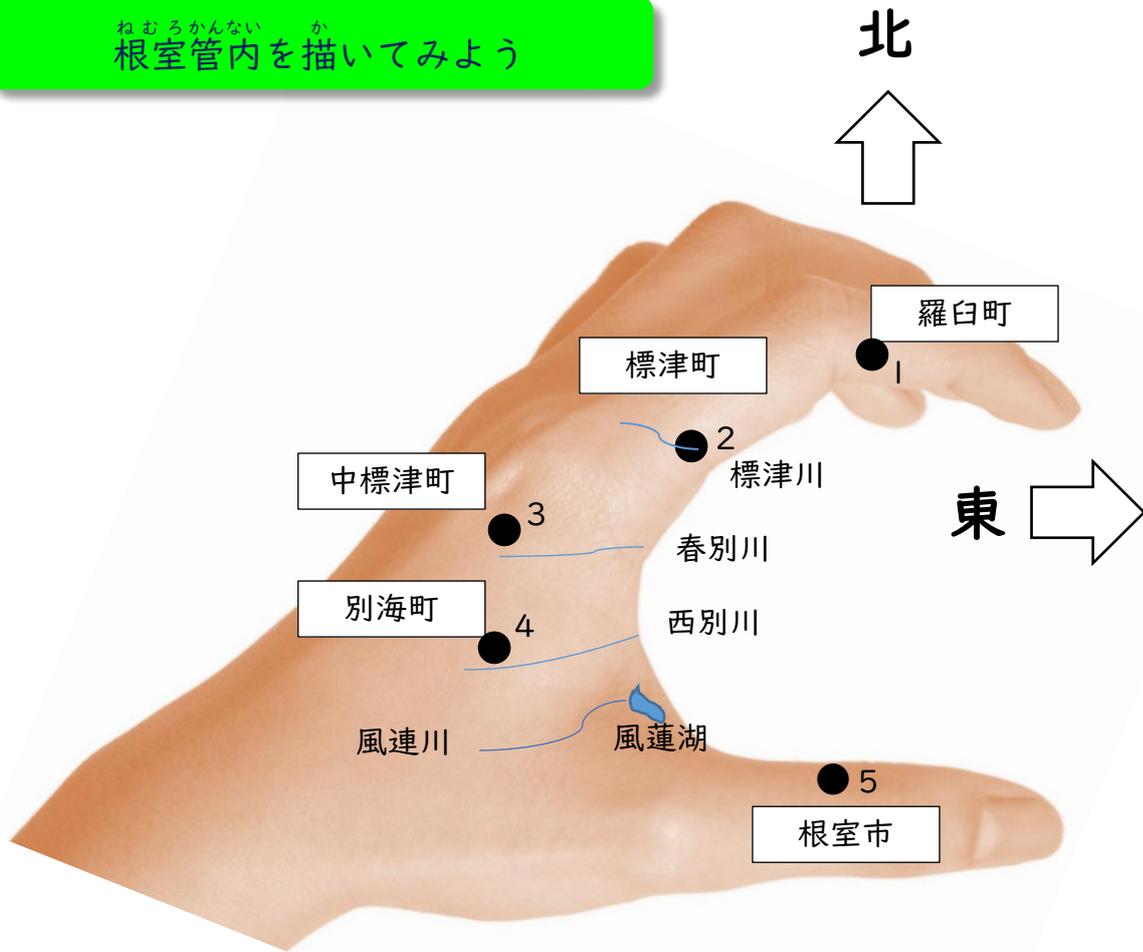
らうすちよう  
(1) 羅臼町のあるところ

わたしたちの住む羅臼町は、根室市・別海町・中標津町・標津町とともに根室管内にあります。漢字で書いたり、およその位置がわかったりすると、新聞やテレビを見るときにとっても便利です。



くなしりとう えとろふとう しこたんとう はばまいぐんとう  
国後島、択捉島、色丹島、歯舞群島の  
ほっぽうりょうど しまじま ふく めんせき ひろ  
北方領土の島々も含むと面積は広い  
んだね。

ねむろかんない か  
根室管内を描いてみよう



① <sup>ひだりて</sup>左手をカニの手のようにします。

② えんぴつでさっとスケッチします。

③ <sup>おやゆび</sup>親指は<sup>ねむろはんとう</sup>根室半島。<sup>ひとさ ゆび</sup>人差し指は<sup>しれとこはんとう</sup>知床半島です。

④ ● 1～5 はおよその<sup>しやくしょ</sup>市役所や<sup>まちやくば</sup>町役場の<sup>ばしょ</sup>場所です。

<sup>し まち いち</sup>市や町の位置をおぼえましょう。

⑤ <sup>おやゆび</sup>親指の先が<sup>さき ひがし</sup>東。<sup>ひとさ ゆび</sup>人差し指の上が<sup>うえ きた</sup>北。<sup>くしろし てくび</sup>釧路市は手首のあたりです。



## ① 羅臼町の土地の様子

わたしたちの町の土地の様子は、  
どのようになっているのだろう。

「羅臼町全図」を見て気づいたことを話し合ひましょう。

羅臼町は、北海道の東部にあります。知床半島の南東の半分を占め、根室海峡に面しています。根室海峡を挟んだ対岸には、国後島を間近に見ることができます。町全体は南西—北東方向に約70 kmと細長い形をしています。

羅臼町には 1,000m を超える高い山が9つもあり、ひとつの町にこれだけの山があるのは、日本でもめずらしいと言われています。海までせまった山の斜面は、主に波のはたらきで削り取られてできる「海食崖」という地形をしています。町全体の7割が山林で資源としては豊富ですが、そのほとんどは知床国立公園が占めていて、多くの観光客が訪れます。知床国立公園は2005年(平成17年)に世界自然遺産に登録されました。

羅臼町には大小合わせて69本もの川が町内に流れていますそのすべてが知床連山から流れだし、一気に根室海峡まで流れ込みます。

平地が少ないため、集落は河川の河口部を中心に、海岸沿いにあります。中心市街は羅臼川の河口部で、羅臼港の周辺にあります。

町名の「羅臼」はアイヌ語「ラウシ(獣の骨のある所の意)」から転化したもので、この地一帯はアイヌの狩猟の地であったためこの名がつけられたと言われています。羅臼町のある「知床」は、アイヌ語で「大地の・先端」を意味する「シリ・エトク」が語源になっています。

## ゆ さわちく ようす ②湯の沢地区の様子

ちく くま ゆ おんせん  
この地区には、熊の湯温泉があります。



しれとこうげ とお しゃりちよう うとろ つづ こくどう ごうぞ なんけん  
知床峠を通り、斜里町の宇登呂まで続く国道334号沿いには、ホテルも何軒

た なら かんこうきゃく み  
か立ち並び、観光客でにぎわいを見せています。



せかいいさん しれとこ しぜん し しれとこうす  
また、世界遺産・知床の自然について知ることができ知床羅臼ビジターセ

こくどう ごうぞ  
ンターも国道334号沿いにあります。



### ③ 春松地区の様子

この地区には、春松小学校があります。

また、春松中学校は平成29

年度をもって閉校し、中学生は

平成30年度に設立した知床未来

中学校へ通っています。

標津方向に向かって、春松地区を通り過ぎると、総合運動公園やキャンプ

場が見えてきます。

総合運動公園には、

野球場・テニスコート・

ソフトボール場・ゲート

ボール場・パークゴルフ

場が広がっています。



### ④ 相泊地区の様子

この地区は、海がすぐそこに広がっています。

民家はほとんどなく、定置番屋と昆布



ばんや た  
番屋が立ちならんでいます。

ばんや りょう ひと しごと と いえ  
※番屋… 漁 をする人が仕事のために泊まる家のこと。

アイドマリ川まで行くと、車が行き止まりになります。その先は、砂利浜  
と海が続いています。



また、その場所は、日本最北東端に位置しています。

かいがん ぞ あいどまりおんせん はい ほっぽうりょうど くなしりとう  
海岸沿いにある相泊温泉に入りながら北方領土の国後島  
のぞ  
を望むことができます。



## (2) 北海道の地図を広げて

### ① 北海道の地図を見よう

わたしたちが住んでいる北海道の  
市町村の位置、北海道の形や土地の  
高さは、どんな様子だろう。

みんなで北海道の地図や、羅臼町とそのまわりの地図を見ながら話し合いました。

「ぼくたちの住んでいる羅臼町は、北海道の東側にあるんだね。」

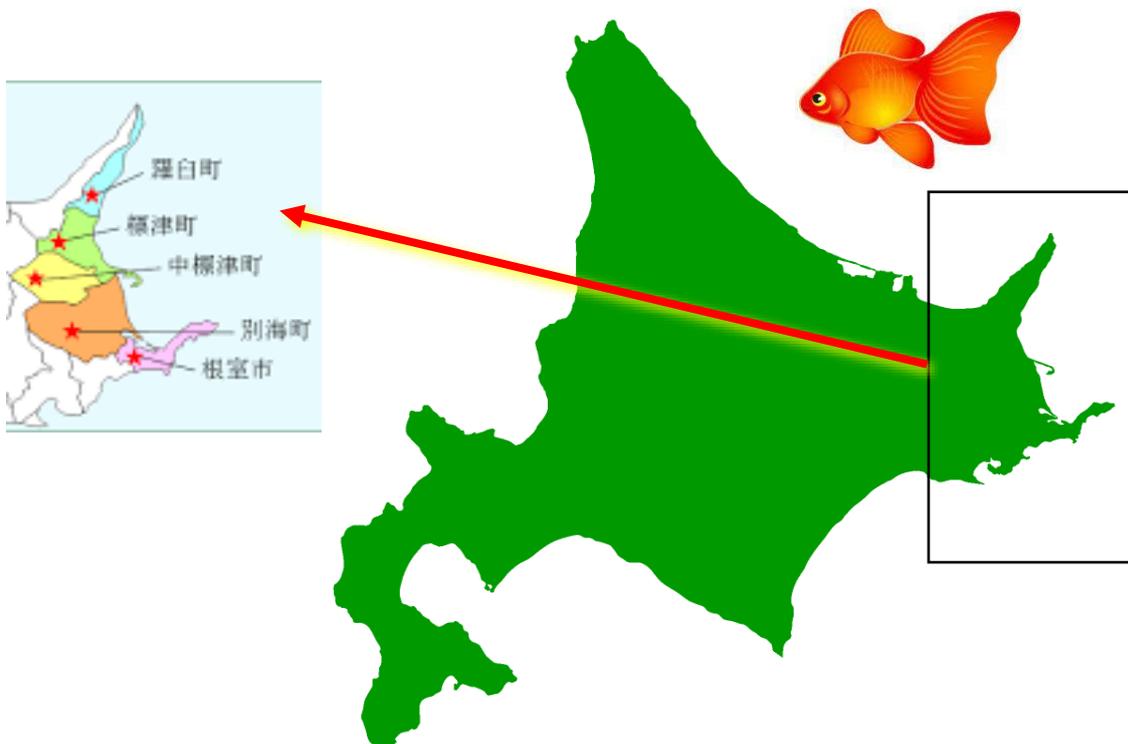
「羅臼町の周りには、標津町や斜里町などの町があるよ。」

「羅臼町から見た稚内の位置を方位で表してみましよう。」

「稚内市は、北と西の間にあるから、羅臼町の北西にあります。」

「よく見ると北海道は、( ) のような形をしているね。とても

覚えやすい形だね。」





みんなは、上の地図を調べて、下の北海道の「高い山・長い川ベスト5」の

ひょう かんせい  
表を完成させました。

ほっかいどう なが かわ 北海道の長い川ベスト5		
じゅんい 順位	かわ なまえ 川の名前	なが 長さ ぜんちよう (全長)
1		km
2		km
3		km
4		km
5		km

ほっかいどう たか やま 北海道の高い山ベスト5		
じゅんい 順位	やま なまえ 山の名前	たか 高さ
1		m
2		m
3		m
4		m
5		m

しらべているうちに地図をぬってある色は、それぞれの高さを表していることに気づきました。

みんなは、北海道の地形を知るため、地図では土地の高さがどのように表されているかわしく知りたいたいと思いました。

## ② 地図で見る土地の高さ

みんなは、地図を見ていて、気になるところを見つけました。

「地図には、緑のところと、茶色のところがあるね。」

「茶色のところは、山を表しているみたいだね。」

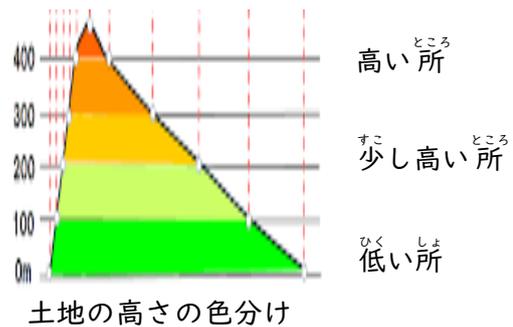
そこで、土地の高さを表す時に用いられる「等高線」の見方を、先生に教えていただくことにしました。

### 等高線（とうこうせん）

土地の高さを地図に表すために考

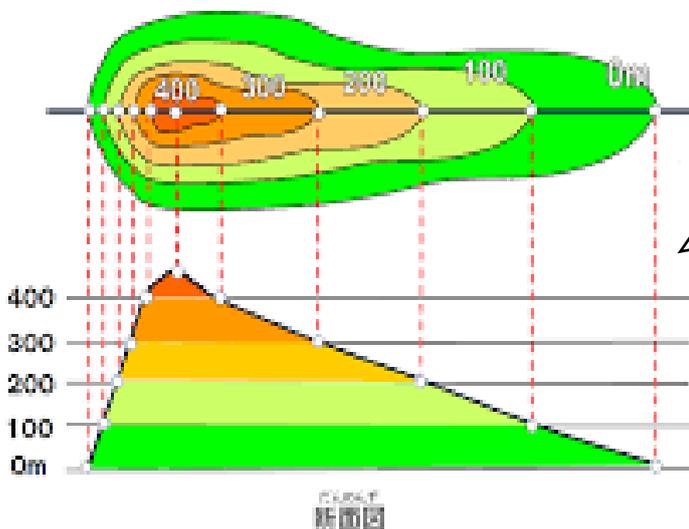
えられたもので、海岸からの高さが

同じところを結んだ線のことです。



## 等高線（とうこうせん）からわかること

- ① 地図をよく見ると、高さを表す数字が書いてある。
- ② 地図上の場所が、どれくらいの高さなのかがわかる。
- ③ 等高線の間隔から、土地のかたむきがゆるやかか、急なのかがわかる。



土地の高さの表し方がわかったみんなは、北海道の地図で、土地の高さが、どのように色分けされているかを、先生に教えていただきました。そして、わかった北海道の地図の形について話し合いノートにまとめました。

北海道の地形について

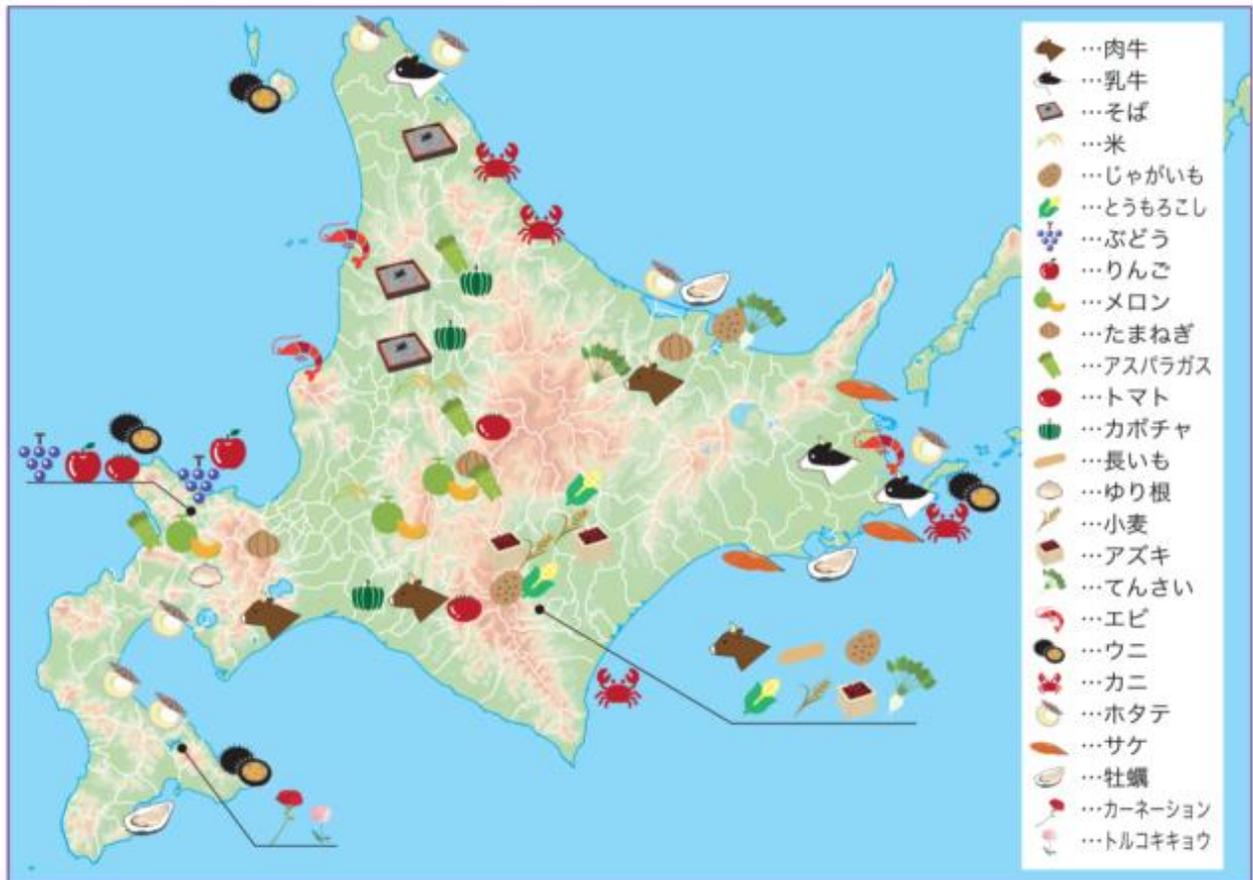
### ③ 農業や漁業のさかんな地域

ほっかいどう のうぎょう ぎよぎょう  
 北海道のどこで、農業や漁業が  
 さかんなのだろう。

みんなは、地図帳から、北海道で作られている物をさがして、話し合いました。すると、北海道で作られている物は、農業、漁業、工業にかかわる3つの種類に分けることができたので、グループで分担して調べ、わかったことを発表することにしました。

また、北海道の資料などをみて、どんな農産物がどこで作られているのか、海産物はどこで獲れるのかを調べました。そして各地で作られている農産物や海産物の絵をカードに書いて、北海道の地図にはりました。その地図を見ながら北海道の農業や漁業の様子について話し合いました。

#### ▶ 北海道の主要な農産物と水産物



みんなは、北海道のまわりの海で、どんな

かいさんぶつ 海産物をとったり、ようしょく 養殖したりしているの  
が調べました。

北海道は海に囲まれているため、たくさ

んの漁港があることがわかりました。

また、北海道の3つの海では、それぞれの

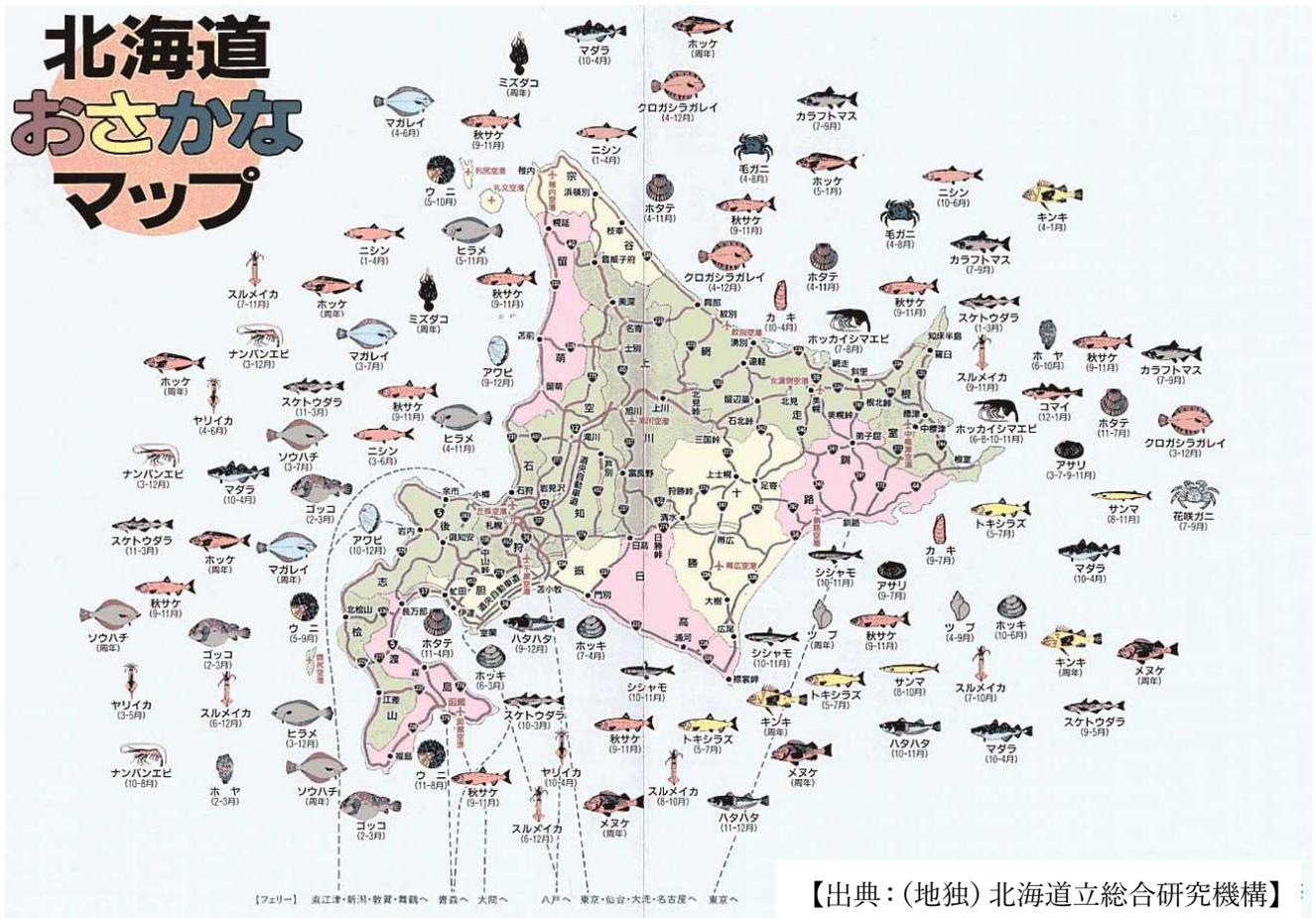
海で獲れる物のちがいがあることがわかり  
ました。

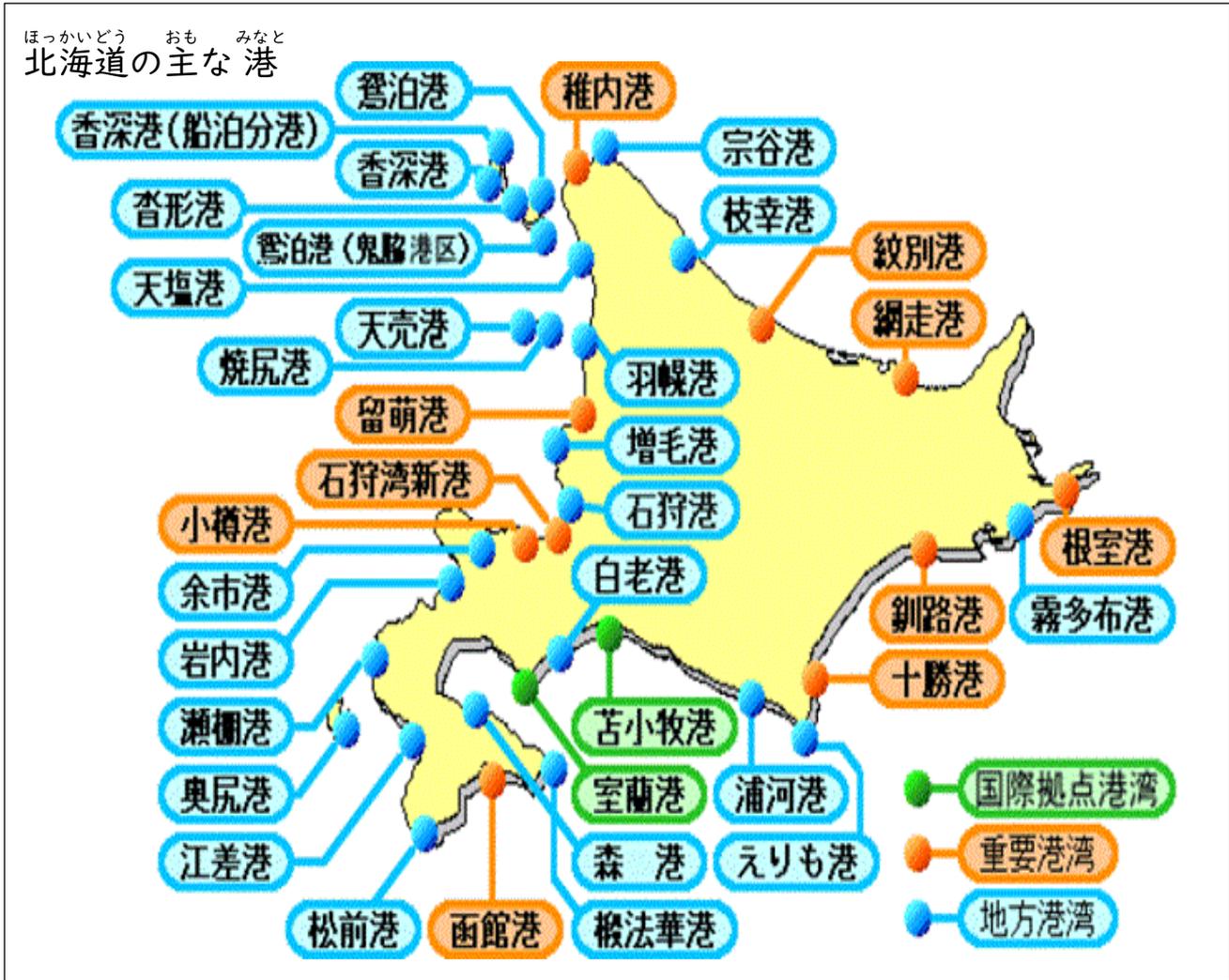
かいさんぶつ  
海産物

さかな かい かい うみ と  
魚や貝などの海で獲れる  
ものと、そのかこうひん  
加工品。

ようしょく  
養殖

さかな かい かい  
魚、貝、海そうなどを  
にんげん て くわ ふ  
人間が手を加えて、増やし  
そだ 育てること。





たいへいよう  
太平洋

サンマ、サケ、カニなどがたくさんとれます。カキ、ウニなどのようしよく養殖もさかん  
です。

にほんかい  
日本海

カレイ、ホッケ、ヒラメなどがとれます。アワビなどのようしよく養殖もさかんです。

かい  
オホーツク海

ホッケ、マス、タコ、カニなどがとれます。ホタテりょう魚もさかんです。



↑ウニ漁（羅臼町）



↑昆布漁（羅臼町）



↑鮭の定置網漁（羅臼町）



↑タラ漁（羅臼町）



↑北海しまえび漁（別海町）

ほっかいどう のうさんぶつ かいさんぶつ ぜんこく  
 北海道の農産物、海産物の中で、全国  
 で一番とれているものは何だろう。

ほっかいどう ぜんこくいち のうさんぶつ ねんど  
 北海道が全国一位の農産物（2018年度）



ジャガイモ

180万<sup>まん</sup> + (79%)



にんじん

19万<sup>まん</sup> + (33%)



たまねぎ

84万<sup>まん</sup> + (63%)



かぼちゃ

9万<sup>まん</sup> + (47%)



とうもろこし

10万<sup>まん</sup> + (41%)



てんさい

391万<sup>まん</sup> + (100%)



小麦

63万<sup>まん</sup> + (66%)



大豆

9万<sup>まん</sup> + (43%)



小豆

5万<sup>まん</sup> + (94%)



菜種

2830 + (79%)

ほっかいどう ぜんこくいち かいさんぶつ ねんど  
 北海道が全国一位の海産物（2018年度）



ホタテガイ

32万<sup>まん</sup> + (99%)



スケトウダラ

15万<sup>まん</sup> + (95%)



サケ

5万<sup>まん</sup> + (91%)



コンブ

5万<sup>まん</sup> + (96%)



マダラ

4万<sup>まん</sup> + (74%)



ホッケ

3万<sup>まん</sup> + (96%)



カレイ

2万<sup>まん</sup> + (57%)



ニシン

1万<sup>まん</sup> + (99%)



タコ

2万<sup>まん</sup> + (66%)



マス

3498 + (90%)

のうさんぶつ かいさんぶつ しら  
 農産物と海産物を調べてわかったことをノートにまとめましょう。

・どこでさかんに <sup>おこな</sup>行われているだろう。

・場所により、とれる物は <sup>もの</sup>変わるの <sup>か</sup>だろうか。

④ <sup>こうぎょう</sup>工業のさかんな<sup>ちいき</sup>地域

ほっかいどう <sup>こうぎょう</sup>北海道のどこで工業がさかんなの  
だろう。



みんなは、<sup>ほっかいどう</sup>北海道の<sup>こうぎょう</sup>工業の様子について調べました。<sup>せんせい</sup>先生に教えていただき  
ながら、<sup>どうちよう</sup>道庁のホームページなどで、<sup>ほっかいどう</sup>北海道で<sup>つく</sup>作られている<sup>おも</sup>主な<sup>こうぎょうせいひん</sup>工業製品な  
どを調べました。



むろらんし とまこまいし こうぎょう  
室蘭市や苫小牧市で工業がさかん  
なのはなぜだろう。

さらに、工場こうじょうでつくられた物の出荷額しゅっかがくを調べました。特に多いのが室蘭市むろらんしや  
苫小牧市とまこまいしであることがわかりました。

これらの地域ちいきでは、どんな物が作られていて、なぜ工業こうぎょうがさかんになった  
のかを地図帳ちずちょうや資料しりょうを使って調べました。

つく おも せいひん  
作られている主な製品

- むろらんし てつ  
・ 室蘭市…鉄など
- とまこまいし かみ じどうしゃ  
・ 苫小牧市…紙、自動車

ちいき こうぎょう  
この地域で工業がさかんなわけ

- うみ めん ふね たりょう げんりょう おお  
・ 海に面しているので、船で多量の原料をはこんできたり、大きくて  
おも せいひん おく だ べんり  
重たい製品を送り出したりするのに便利だから。

みんなは、工業こうぎょうがさかんなのは、広い土地ひろ とちがあり、ものを運ぶはこのに便利べんりな  
場所ばしょだと気づきました。そこで、道路どうろや鉄道てつどうなどについても調べることにしま  
した。

## ⑤ 北海道の交通の様子

北海道各地でつくられた工業製品

北海道の交通の様子には、どんな特徴があるのだろう。

や農産物、海産物は、トラックや鉄道、船や飛行機で、道内や他の都府県、外国に運ばれていきます。

みんなは、広い土地の北海道を、高速道路や鉄道が、どこにどのようにつながっているのかを調べ、わかったことをノートにまとめました。



【出典：北海道(令和4年4月1日現在)】

ほっかいどう こうつう ようす しら  
北海道の交通の様子を調べて

みんなは、交通によって、道内の各地が、様々な場所とつながっていることを知りました。そして、このつながりが、物や人の行き来を支えていることに気づきました。



↑ 特急列車



↑ 中標津空港



↑ フェリー



↑ 高速道路

とくさんぶつ かんこう し ちいき  
 ⑥ 特産物や観光で知られる地域

ほっかいどう かんこう し ちいき  
 北海道の観光で知られる地域の  
 とくさんぶつ なに  
 特産物には何があるのだろう。

ほっかいどうぜんたい ようす しら どうない さまざま ちいき し  
 北海道全体の様子を調べて、道内には様々な地域があることを知りました。



稚内市：タラバガニ  
 漁業と観光の町でロシア  
 の人もたくさんいます。



小樽市：ガラス細工  
 古い建物の近くに運河が  
 あり、ガラス細工も有名



置戸町：オケクラフト  
 地域産業を生かしたオケクラフ  
 トを作っています。



中標津町：開陽台  
 全国から観光客がたくさ  
 ん来ます。



札幌市：時計台  
 大通公園の近くにあつて  
 外国人も来ています。



根室市：サンマ  
 近くの海でサンマやカニ  
 がたくさんとれます。



函館市：夜景  
 ロープウェイに乗って函館山か  
 ら見る夜景は最高です。



釧路市：釧路湿原  
 日本一広い湿原で国立公  
 園に指定されています。

つぎ とくさんぶつ かんこう し ちいき えら ひとびと  
次に、特産物の観光でよく知られているいくつかの地域を選び、人々のくらしについてくわしく調べることにしました。

まず、グループごとに、かんこうあんない しりょう しゃしん  
観光案内などの資料や写真、インターネットなどを  
りよう し はっぴょう  
利用して、知っていることを発表するポスターをつくることにしました。

とまこまいし い おお みなと せいしこうじょう  
「苫小牧市に行ったことがあるけれど、大きな港や製紙工場があったよ。  
くしろ に かん  
釧路と似ている感じがしたよ。」

おたる す いえ あそ い うんが つ い  
「小樽に住んでいるおばあちゃんの家遊びに行ったとき、運河に連れて行って  
もらったよ。」

はっぴょう ちいき りんぎょう まち おけとちょう  
みんなが発表したい地域のうち、林業とオケクラフトの町、置戸町をくわ  
しく調べることにしました。

## ⑦ ①<sup>りんぎょう</sup> 林業とオケクラフトの町 ②<sup>まち</sup> 置戸町

③<sup>おけとちよう</sup> 置戸町でオケクラフトがさかん  
になったのはなぜだろう。

### 【オケクラフトって何？】

④<sup>おけとちよう</sup> 置戸町では、⑤<sup>しんりん</sup> 森林に恵まれた⑥<sup>めぐ</sup> 資源を⑦<sup>しげん</sup> 生かして⑧<sup>い</sup> 木の  
⑨<sup>うつわ</sup> 器「オケクラフト」をつくっています。みんな  
⑩<sup>うつく</sup> は美しい器に興味をもち、⑪<sup>おけとちよう</sup> 置戸町がどんなとこ  
ろか、そしてなぜ、このような⑫<sup>き</sup> 木の器をつくって  
⑬<sup>しら</sup> いるのかを調べてみることにしました。



#### ⑭<sup>おけとちよう</sup> 置戸町メモ

⑮<sup>じんこう</sup> 人口…2,712人

⑯<sup>ねん</sup> 2022年 ⑰<sup>がつ</sup> 7月 ⑱<sup>にち</sup> 31日

⑲<sup>めんせき</sup> 面積…527.27 km<sup>2</sup>

⑳<sup>めんせき</sup> 面積の ㉑<sup>わりいじょう</sup> 8割以上を ㉒<sup>しんりん</sup> 森林

㉓<sup>し</sup> が占める、㉔<sup>りんぎょう</sup> 林業と

㉕<sup>のうぎょう</sup> 農業のさかんな ㉖<sup>まち</sup> 町で

㉗<sup>す</sup> す。

⑳<sup>おけとちよう</sup> 置戸町では、㉘<sup>もくせいひん</sup> 木製品をつくるために「㉙<sup>しんりんこうげいかん</sup> オケクラフトセンター森林工芸館」  
をたてました。

㉚<sup>おも</sup> そこでは、主にエゾマツやカバなどを使って㉛<sup>つか</sup> おわんやさら、おぼんなど木  
の㉜<sup>しょっきるい</sup> 食器類を作ったり、それらの㉝<sup>もくせいひん</sup> 木製品を作る人を育てたりしています。

㉞<sup>もくせいひん</sup> つくられた木製品は、㉟<sup>しんりんこうげいかん</sup> 森林工芸館の㊱<sup>てんじ</sup> ショップにたくさん展示され売られて  
います。ここでつくられた木㊲<sup>き</sup> の食器は、置戸町の㊳<sup>しよっき</sup> 認定こども園や学校 ㊴<sup>おけとちよう</sup> 給食  
㊵<sup>えん</sup> で使われていて、みんなよろこんで㊶<sup>がっこうきゆうしょく</sup> 使っているそうです。



木の器のいいところ

① 手で持っても熱くない

② 木でできているので、修理することができる。

③ プラスチックや陶器の食器よりも、音が優しく温かみがある。



おけとちよう きゆうしよく  
《置戸町の給食》



クラフト食器



チーズトースト  
バジル炒め  
チンゲン菜のスープ



ツナポテトオムレツ  
ブロッコリーサラダ  
アスパラのみそ汁



鶏肉のカレー炒め  
キャベツのマカロニサラダ  
たまごのみそ汁



厚揚げのチーズ焼き  
コーンソテー  
はんぺんスープ



肉豆腐  
ほうれん草のおかか和え  
じゃがいものみそ汁

## 【オケクラフトができるまで】

オケクラフトはどのように<sup>つく</sup>られているのだろう。

みんなは、オケクラフトがどのように<sup>しら</sup>されているのか調べてみました。

### ① <sup>げんぼく き だ</sup>原木・切り出し

<sup>げんぼく</sup>  
原木はエゾマツ。

<sup>いってい あつ き だ</sup>  
一定の厚さに切り出します。



### ③ <sup>きと</sup>木取り

<sup>かんそう ざいりょう</sup>  
乾燥した材料におおまかにサイズをとって、<sup>でんどう</sup>電動のこぎり<sup>き だ</sup>で切り出します。



### ④ <sup>あらぐり</sup>あらぐり

おおまかに<sup>き だ</sup>切り出したあとに、ろくろで  
ずりやすいように<sup>だ</sup>まるくけずり出し、<sup>なか</sup>中を  
くりぬきます。



## ⑤ くるいだし・乾燥

かんそうき  
乾燥機に5分ほど入れ、ふ  
くまれる水分を8%ていど  
にし、くるいをだします。



## ⑥ しあげけずり

もっこう  
木工ろくろをつかって仕上げま  
す。最後にサンドペーパーをか  
けて仕上げます。



## ⑦ 塗装

きじ だいじ  
木地を大事にするためとうめい色のもの  
を使います。また 体 に安全なものが使わ  
れています。



## ⑧ できあがり

できあがりまでの流れです。最初は右の大まかな形から、機械や職人さん  
の手作業によって左になるにしたがって完成していきます。職人さん  
によっては1ヶ月に400個も作る人がいるそうです。また、効率よくつく  
るために同じ工程をまとめて作る工夫をしているようです。



## 【オケクラフトにこめた願い】

オケクラフトをつくっている人たちは、  
どのような願いをもっているのだろうか。

置戸町を調べていくうちに、昔から林業がさかんな地域だと知りました。

きっと町の産業と関係があるのだと思い、工芸館館長さんにお話を聞いてみました。

### オケクラフト森林工芸館館長のお話

オケクラフトは、1983年（昭和58年）に、置戸町の地域財産である森林資源を利用して、工芸品をつくろうという運動から生まれました。

オケクラフトは木目や木はだを大切に、職人さんが一つ一つ手作りしていますので完成するまで時間がかかりますし、たくさん作ることができません。ですから、値段は少し高いのですが、いいものを長く使おうという人たちに愛されています。

置戸の森林工芸館にぜひ一度来て、いろんな種類の木製品を見てくださいね。

置戸町では、オケクラフトを通して「人を育てる」「産業を育てる」まちづくりをしていることがわかりました。

もっと知りたい「オケクラフト」

●置戸町教育委員会 森林工芸館

[http://www.town.oketo.hokkaido.jp/kyouiku\\_bunka/kogeikan/](http://www.town.oketo.hokkaido.jp/kyouiku_bunka/kogeikan/)

●オケクラフトセンター 森林工芸館



オケクラフトには、<sup>しょっき</sup>食器や<sup>かく</sup>家具  
<sup>ほか</sup>の他、スプーンやフォーク、バター  
ナイフもあるんだね。

「<sup>ちょうない</sup>町内には <sup>にん</sup>20人をこえる<sup>しよくにん</sup>職人  
さんが<sup>こうぼう</sup>工房をかまえていて<sup>つく</sup>作っ  
ているんだね。インターネットで  
<sup>はんばい</sup>も販売しているんだね。



<sup>おけとちよう</sup>置戸町の多くの<sup>かてい</sup>家庭では、<sup>いわ</sup>お祝いごとがあったときや<sup>きやくさま</sup>お客様のおもてなし  
をするときなどをはじめ、<sup>ひび</sup>日々の<sup>なか</sup>くらしの中にオケクラフトを<sup>つか</sup>使っています。  
また、「<sup>にんげん</sup>人間<sup>ば</sup>ばん馬」も有名です。<sup>ゆうめい</sup>町の<sup>まち</sup>産業や<sup>さんぎよう</sup>イベントを<sup>くふう</sup>工夫して<sup>まち</sup>町おこし  
のために<sup>どりよく</sup>努力している<sup>まち</sup>町だとわかりました。



さっぽろし そら くに ちいき  
**⑧札幌市と空でつながる国や地域**

さっぽろし しんちとせくこう とお  
 札幌市は、新千歳空港を通して、どんな  
 くに ちいき むす  
 国や地域と結びついているだろうか。



みんなは、新千歳空港について調べることになりました。

まず、資料を見て、新千歳空港から入国した人の数について調べました。

次に、新千歳空港との間で、

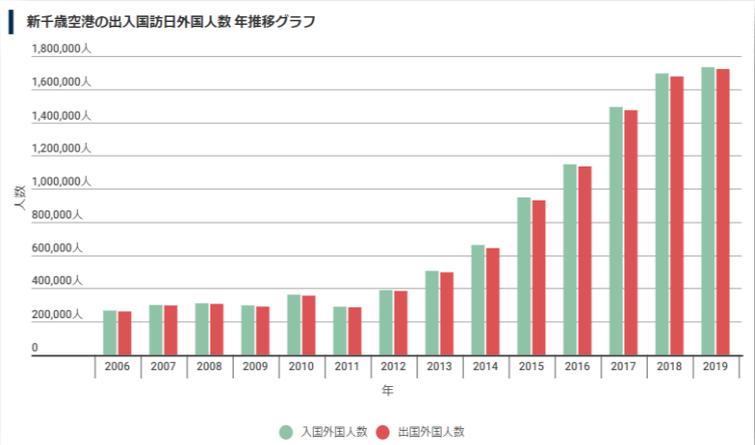
飛行機の行き来のある国や地域

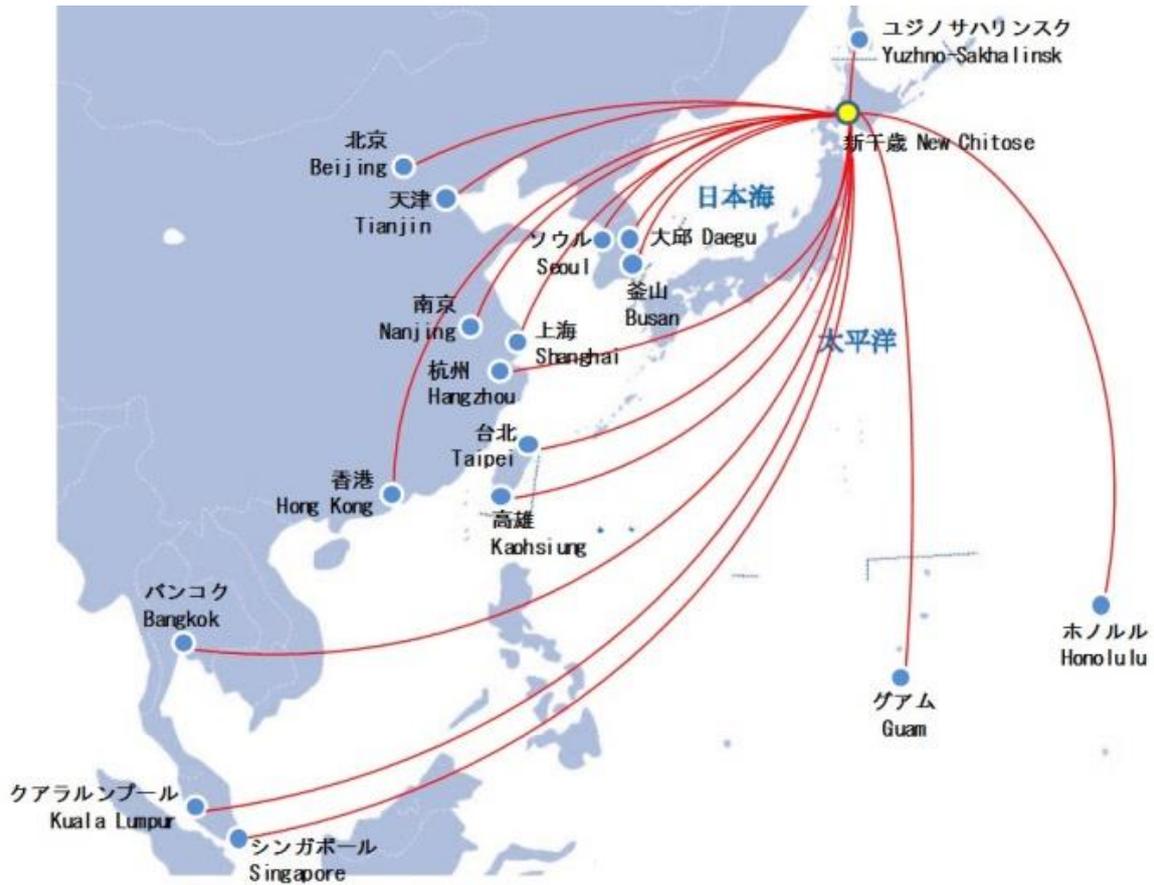
を、地図帳で確かめました。

国外だけでなく、国内の多く

の都道府県との間でも、飛行機

の行き来があることを知りました。





【出典：北海道開発局】 新千歳空港との間で飛行機の行き来がある国と地域（2018年）

「国旗は、その国を表す印として使われている旗のことだよ。」

「新千歳空港との間で飛行機の行き来がある他の国の国旗も調べよう。」

「札幌市は、人や物、文化などが行き交うことによって、外国や他の

都道府県と深く結びついているんだね。」

「どこの国の国旗も、大切にされているんだよ。」

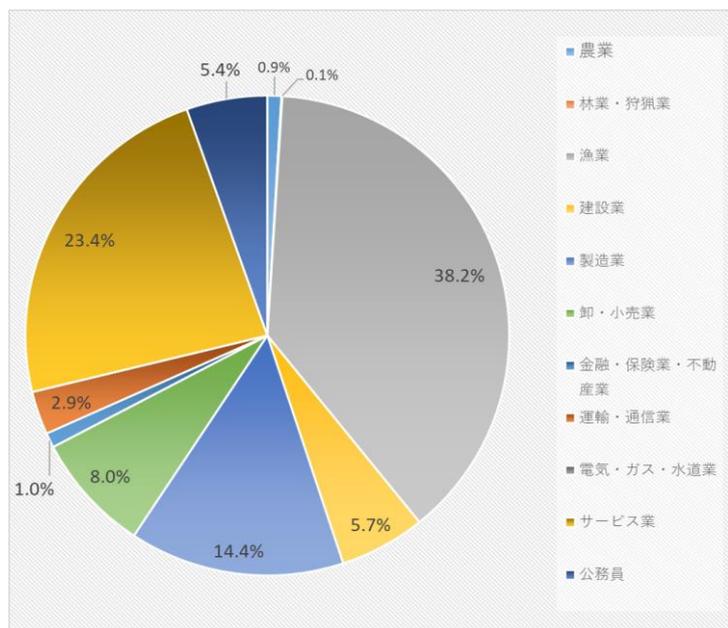
### 3 羅白町の産業

#### (1) 羅白町の水産業

##### ① 水産業にたずさわる

13ページの「産業の様子」でも学習したことを復習してみましょう。13ページでは、羅白町に暮らす多くの人々が、漁師さんはもちろん漁業協同組合員や、漁業製品を作る水産加工業にたずさわるなど、漁業に関わる仕事をしていることがわかりました。

産業の種類	人数
農業	30
林業・狩猟業	2
漁業	1230
建設業	185
製造業	463
卸・小売業	258
金融・保険業・不動産業	32
運輸・通信業	94
電気・ガス・水道業	0
サービス業	753
公務員	174
<b>合計</b>	<b>3221</b>



平成27年度産業別15歳以上就業者数

羅白町役場HP令和3年度町勢資料要覧より

## ② 漁獲される主な海産物

「魚の城下町」と言われるほど水産業が盛んな羅臼町です。16 ページで

学習したように、サケ・昆布・ホッケ・スケソウダラ・イカなどが獲れるほか、ウニ・キンキ・ブドウエビなども水揚げされています。

漁種	数量(トン)
スケソウダラ	3082
秋サケ	1493
ケイジ 鮭児	1
ほっけ	1512
めんめ	51
うに	67
たら	3959
かれい	1181
いか	224
おひょう	17
こんぶ	336
その他	7143
合計	19066



## ③ 最高級品「羅臼昆布」と幻のエビ「ブドウエビ」

海産物の中で、特に最高級品として全国的に有名なものが「羅臼昆布」です。

夏の漁期になると、家族で協力し合って羅臼昆布漁にはげむ人々の姿が見られます。他の地域で獲れる昆布に比べて、数が少なく“干す”“しめりを入れる”を何度も繰り返すなど、うま味を出すためにたくさんの手間ひまをかけて作られる羅臼昆布は「日本一の昆布」と羅臼町のシンボルの一つとなっています。

「幻のエビ」と呼ばれるほど貴重なのがブドウエビです。このエビを獲る

ための船が1隻しかなく、数も少なく大変貴重な海産物になっています。

#### ④ 羅臼町の水産加工品…海鮮工房の加工品

水産加工品ではいくら、たらこ、ウニ、羅臼昆布、サケやホッケなどの加工品が有名です。



新鮮な魚や多くの水産加工品が並ぶ羅臼漁業協同

組合直営の海鮮工房（道の駅）では、たらこやイクラ、イカやホッケの加工品はもちろん、特に羅臼昆布を使った、たくさんの



種類の加工品が売られています。昆布だし、昆布茶、昆布ラーメン

などが所狭しと並んでおり、観光客を中心に店内はにぎわいを見せています。

## (2) 羅臼町の酪農業

### ① 羅臼町の農業

豊かな自然にかこまれている羅臼町ですが、田や畑はなく、農作物は生産されていません。羅臼町の南（峯浜地区）では酪農が営まれています。

### ② 酪農業の様子

2022年（令和4年）現在、羅臼町では9つの牧場で酪農が営まれています。

す。漁業のイメージが強い羅臼町の産業に、酪農業があることは意外と思わ

れるかもしれませんが、羅臼町全体では、700頭あまりの

乳牛が飼育されていて、約3400+の牛乳が出荷されて

います。



### ③ 稗田さんの思いと願い

2009年(平成21年)、稗田さんは羅臼町で酪農を始めました。2014年(平成

26年)現在、稗田さんの牧場では子牛を含めて約80頭の牛を飼育しているそ

うです。「夏が涼しく、景色がいい」と語る羅臼町での酪農業の良さと苦労を

うかがいました。



羅臼町で営む酪農業の一番の良さは

「夏の気温が低い」ことだそうです。牛は

暑さに弱く、涼しい気温の中での生活が、

牛にとってはストレスが少ないのだそう

です。

しかし、この「夏の気温が低い」ことは逆に苦労にもなります。牛のえさと

なる「牧草」は気温が低いと伸びづらいのです。また、雪が多いのも苦労の一

つですが、牛を飼う上ではそれほど苦労は多くないと語られました。

最後に、羅臼町での酪農の夢や願いについてたずねると、「風土を生かした、

らうすちよう しかでできない らくのう 酪農を したい。 ちさんちしよう めざ 地産地消を 目指して、 らうす ぼくじよう 羅臼の牧場で しば  
った ぎゅうにゅう 牛乳を使った 『らうすぎゅうにゅう 羅臼牛乳』 が しょうらい 将来で きたらいい。」 と ひえだ えがお  
で 語って くれました。

### (3) 羅臼町の観光業

せかいしぜんいさん しれとこ 知床の 豊かな 自然を見  
ようと、 たくさんの 観光客が 羅臼町をお  
とずれます。 特に、 最近では 観光船を利用  
した クルージングの 人気が高く、 夏には



提供: 奄知床ネイチャークルーズ

シャチ・クジラ・イルカ、 冬には 流氷 や オジロワシ・オオワシなどを 間近で



み 見ることが できるため、 観光客 だけではなく、  
く、 野生動物の 研究者や 写真家なども やっ  
てくる ようになりました。

また、 キンキ・鮭見などを はじめとした

サケ・マス・スケソウダラ・イカ・ウニなど 豊富な 海産物を 食べることが でき

るのも 人気の 理由です。 ホテルや 民宿、

おんせんりよかん 温泉旅館などで 手軽に 味わうことが でき、

みち えき 道の駅には 3つの 売店が あります。

たくさんの 観光客を ひきつける 魅力に



あふれた<sup>らうすちよう</sup>羅臼町ですが、<sup>かんこうきゃく</sup>観光客が<sup>す</sup>捨てていく<sup>やせいどうぶつ</sup>ごみや、<sup>つ</sup>野生動物との<sup>あ</sup>付き合い方<sup>かた</sup>  
などのマナーが<sup>かだい</sup>課題の<sup>ひと</sup>一つとなっています。



## 4 町内にあるいろいろな施設

羅臼町には、町の人々の生活を高め、豊かにするためにいろいろな施設があります。

役場、町民体育館（らうすぽ）、郷土資料館、町民温水プールなどたくさん  
の建物があります。

また、しおかぜ公園、ビジターセンター、熊の湯温泉などの施設もあり、多くの人々が利用しています。これらの建物や施設は、みなさんがよく目にするものですが、どのような役割をもっているのでしょうか。

### (1) 政治を行う施設

#### ① 町役場

#### ア 町役場の仕事

町役場では、町のためにどんな仕事をしているのだろう。

町民が、明るく住みよい生活ができるよう町づくりを考え、いろいろと仕事を分担し、係ごとに分かれて進めます。



羅臼町役場

世界自然遺産のまち  
知床・羅臼町

## イ 町長

町の仕事を責任をもって行っているのが町長です。町民から選挙によって選ばれます。町長の仕事を助けるのが、副町長です。

## ウ 町議会と町議会議員

町議会は、町民から選ばれた町民の代表である議員によってつくられています。町で使うお金のことや町全体の問題や仕事のことを相談したり、決めたりしています。

議員は、定数10名で成り立っており、年4回の定例議会（3月・6月・9月・12月）と臨時議会で議題を話し合います。議会の様子は、議場でみることもできます。また、話し合ったことは、議会だよりで町民にお知らせしています。



議会の様子

## (2) 学ぶための施設

### ① 幼稚園・学校

いま むかし  
今と昔では、学校の数は変わっている  
のだろうか。

ちょうない ちょうりつようちえん えん らうすようちえん しゅんしょうようちえん ちょうりつしょうがっこう  
町内には、町立幼稚園が2園（羅臼幼稚園・春松幼稚園）、町立小学校  
が2校（羅臼小学校・春松小学校）、町立中学校が1校（知床未来中学校）、  
どうりつこうこう こう らうすこうこう  
道立高校が1校（羅臼高校）あります。



らうすちようとしよかん  
②羅臼町図書館

こうみんかん かいたい ともな げんざい やくば かい うんえい としよかん やく まん  
公民館の解体に伴い、現在は役場1階で運営しています。図書館には約5万

せんさつ ほん おお ちようみん りよう らうすちよう がっこう  
9千冊の本があり、多くの町民が利用しています。羅臼町の学校においてある

ほん か  
本を借りることもできます。

ほん けんさく らうすちようとしよかんけんさく りよう み  
本を検索したいときには「羅臼町図書館検索システム」を利用すると見つか

りやすいです。また、新着図書のご案内や、借りるのが困難であったり、都合が

わる としよかん ひと いどうとしよかん  
悪くて図書館に行けない人のために、移動図書館バス



ごう としよ たくはい  
(かもめ号)、図書の宅配サービスもあります。

としよかん りようしゃ くふう  
図書館は利用者のためにどんな工夫がされているのだろう。



↑ 羅臼図書館の様子

### ③郷土資料館

らうすちよう れきし  
羅臼町には、どんな歴史があるのだろう。

ねん へいせい ねん きゅううえべつしょうちゅうがっこう ないぶかいそう  
2011年(平成23年)に旧植別小中学校を内部改装し、オープンしました。

ちようみん きぞう せいかつ ぎよぎよう かん しりょう いせき  
町民が寄贈した生活・漁業に関する資料や、遺跡(オホーツク、トビニタイ)

しゅつど ど き せっき しれとこ しぜん だいひょう  
から出土した土器や石器、知床の自然を代表するシマフクロウやオオワシの

はくせい たすうてんじ  
剥製などを多数展示しています。



郷土資料室の展示物

### (3) 体力をつけ運動を楽しむための

#### スポーツ施設

運動施設は、どんな人がどんな目的で利用しているのだろう。

#### ① 羅臼町民体育館『らうすぽ』

羅臼町民体育館は町民のスポーツセンターとして、各種のスポーツを楽しむ人々で、朝から夜遅くまで利用されています。その他、町のスポーツ大会をはじめ、各種少年団活動などにも利用され、一年中にぎわっています。

令和3年にリニューアルオープンしました。トレーニングルームや調理実習室の使いやすさ、乳幼児期の子供たちに向け遊具を配置したプレイルームなどができました。



↑ 羅臼町民体育館

アリーナは、約200人の観客を収容できます。多目的ルーム（空手・ダンス）や会議室もあり、スポーツだけではなく文化的事業も楽しむことができます。

#### ② 町民温水プール

市街地から知床峠の方向へ少し行くと、湯の沢町に温水プールがあります。この温水プールは温泉熱を利用した真水の温水プールです。5月初めにオープンして、10月いっぱいまで閉じられますが、シーズン中はたくさんの人々に

ぎわっています。



↑ 町民温水プール

### ③ そうごううんどうこうえん 総合運動公園

かすがおほし 春日大橋を見おろせる ほろもえちく 幌萌地区に やきゅうじょう 野球場、テニスコート テニスコート、パークゴルフ場 パークゴルフ場

そな を備えた うんどうこうえん 運動公園があります。

がつ 5月から がつ 10月まで使用することができます。



総合運動公園

## (4) 健康で安全な生活を守るための施設

健康や安全を守るための施設は、どんな役割があり、どんな仕事をしているのだろう。

### ① 診療所・歯科医院

羅臼町には、知床らうす国民健康保険診療所があり、町民の健康や病気

予防のために24時間体制で仕事をしています。

また、高齢者のための通所リハビリセンターが併設されており在宅で生活し

ている人のための支援がされています。

その他に町内には歯科医院があります。



知床らうす国民健康保険診療所



歯科医院

### ② 駐在所・消防署・海上保安署

町には人々の安全を守るため施設があり、24時間体制で町民の安全を守っています。

事故や事件が起きた時の対応や安全を守るための活動などを行う「羅臼

駐在所」、火事の際の消火活動や救急時の搬送や火災を予防するための活動

を行う「羅臼消防署」、海上の安全を守る「羅臼海上保安署」があります。



↑ 羅白駐在所



↑ 羅白海上保安署



↑ 羅白消防署

117番・・・時報      177番・・・天気予報

119番・・・消防      110番・・・警察

では、118番・・・???

「海猿」は知ってるかな？



にほん うみ かに しまぐに うみ じこ じけん  
日本はまわりを海に囲まれた「島国」です。そのため、海での事故や事件が

おお はっせい  
多く発生します。

うみ ばん  
海の「もしも」は 118番

かいじょうほあんちよう  
海上保安庁につながるよ。



かいじょうほあんちよう おも しごと  
海上保安庁の主な仕事



ほか しごと かいじょうほあんちよう うみ けいさつ  
その他にもたくさんの仕事をしています。海上保安庁は「海の警察」なので  
す。

### ③子育て支援

らうすちようこそだ しえん  
羅臼町子育て支援センター

『ありんこ』は、幼稚園入園前

の子どもたちや出産前の妊婦さん

が利用できる場です。手遊びや



↑ありんこ

読み聞かせなど子供たちの成長につながる活動をしたり、保護者の交流の場  
となっています。

羅臼町子ども発達センター『ありんこ』では、発達や成長に心配のあるお子  
さんへの個別を中心とした支援を行っています。一人一人の子供にあった  
支援や遊びを通して、自分でいろいろなことができるように練習や訓練をし  
ます。

### ④福祉施設・介護施設

お年寄りの健康と生活を守れるように、日常生活のサポートを介助ができ

るデイサービスセンターをはじめ、いくつかの施設があります。



福寿園



ゆとり館



↑ふくろうの郷



↑しおさい

## (5) 生活を楽しむための施設

### ① 自然についての情報を発信している施設

らうす みりよく なん  
羅臼の魅力は何だろう。

ビジターセンターは市街地から知床峠よりの国道沿いにあります。中には

パネル、模型、写真、映像、剥製などがあり、世界遺産・知床の自然について

知ることができます。世界自然遺産である知床をより深く知り、楽しむために

現地で様々な情報提供・レクチャーを行っている環境省の施設です。



↑ビジターセンター

せかいしぜんいさん しれとこ とく せんたんぶ とざん  
 世界自然遺産である知床（特に先端部）にトレッキング、登山、シーカヤックなど、自然との関わりを目的として訪れる場合に、現地でしか得られない情報や、守って欲しいルール・マナーなどをレクチャーしてくれるのが「ルサフィールドハウス」です。館内には知床半島先端部の素晴らしい自然を見て知ることができる様々な展示があり、人と知床の自然の関わるなどを学ぶことができます。



ルサフィールドハウス

## ②公園

わたしたちの町には、いくつかの公園があります。共栄町にある「しおかぜ公園」は森繁久弥さんが主演した映画「地の涯に生きるもの」で、主人公にふんした「オホーツク老人」の像と「知床旅情」の歌碑があります。国後島がよく



↑しおかぜ公園

見え、近くの港で働く人々や、漁で行きかう船を見ることができます。

また、ざいもく岩トンネルの真上にある羅臼灯台の隣には「くじらの見える丘公園」があります。その名の通り、地上からクジラ（ツチクジラ、マッコウクジラ、ミンククジラ、シャチ）が観察できる丘上の公園です。地上からクジラが観察できる場所は、北海道だけではなく日本全国でも数えるほどです。



くじらの見える丘公園

### ③ 観光

羅臼町には毎年、たくさんの観光客が訪れます。観光施設の主なものとして、道の駅「知床・らうす」、羅臼国後展望塔があります。



道の駅 知床らうす



羅臼展望台

また、羅臼の壮大な自然を感じることができるたくさんの場所があります。

温泉、滝、峠、湖、岩など多くの自然が残っています。



知床峠



間欠泉



セセキの滝



熊岩



羅臼湖



熊の湯

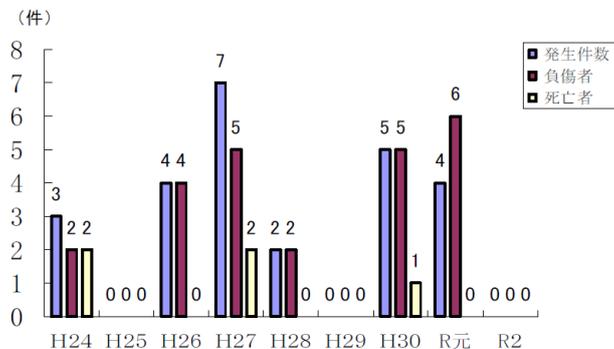
## 5 安全なくらし

### (1) 交通事故をふせぐ

車社会と言われるほど自動車を利用する人が増え、便利な生活になりました。最近では、少しずつ交通事故が減ってきましたが、それでも2021年（令和3年）では、1年間に2,636人が、交通事故で亡くなっています。北海道では、同じ年に120人が交通事故で亡くなりました。

羅臼町では、交通事故の数が減っていますが、令和2年までの10年間に、5人の尊い命が失われ、27人のけが人が出ました。

■交通事故発生の推移



(資料:環境生活課)

羅臼町役場 HP 令和3年度町勢資料要覧より

交通事故の原因は、前をよく見なかったり、わき見運転をしていたなど、安全運転を行わなかったことが主にあげられます。また、酒酔い運転や無免許運転などは、強く禁じられています。

交通のきまりは、みんなの幸せを守るために作られたものです。自分から進んで守るように努めましょう。

## ① 羅臼町の交通安全

1962年(昭和37年)に、羅臼町交通安全協会ができました。交通安全協会

では、各町内会の代表者が代議員となり、交通安全運動に取り組んでいます。

主な活動は、道路に看板を立てたり、講習会を開いたり、春・夏・秋・冬・

行楽期・輸送繁忙期の交通安全週間に街に出て安全運転を呼びかけたりと、

事故防止に努めています。



## ②交通安全の指導員

羅臼町では、町内に住んでいる人たちの中から、交通安全指導員をお願いし

ています。指導員さん方は、登下校時間の安全指導や知床開きなどの大きな

行事がある時などに、交通整理などの仕事をしています。

この他、交通安全にかかわって、地域のためにいろいろな活動をしています。

幼稚園や小学校や中学校に出かけて行って、交通安全教室に協力してい

ます。自転車の乗り方や交通標識の見方、道路や横断歩道の渡り方などの指導

をします。

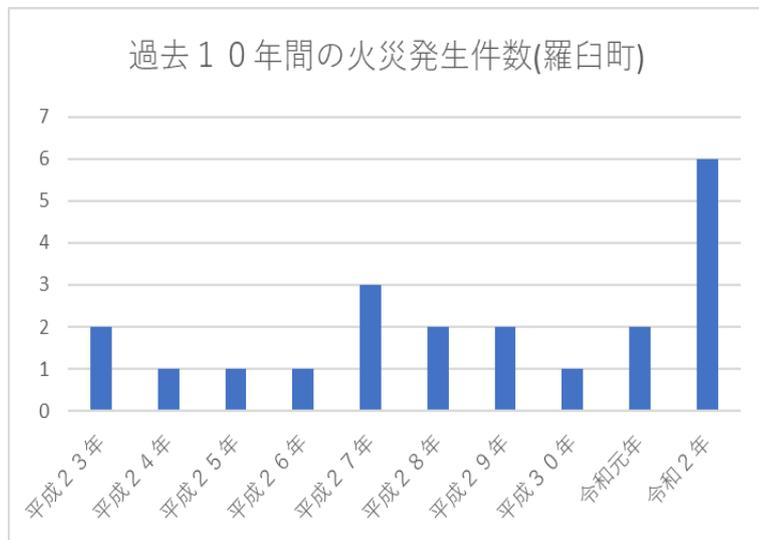
## (2) 火事をふせぐ

わたしたちの生活にとって大切な火も、一歩使い方を間違えると、多くの

人々の命や財産を失う、おそろしい災害をひきおこします。

らうすちよう かじ かいすう ねん へいせい ねん ねん れいわ  
羅臼町でおきた火事の回数は、2011年（平成23年）から2021年（令和2

ねん  
年）までの10年間に21回もありました。



### 火事の原因

- ・たばこの不始末
- ・コンロ
- ・ストーブ
- ・ガスバーナー
- ・不明

かじ げんいん み せいかつ なか ふちゅうい かじ  
火事の原因をしてみると、生活の中でのちょっとした不注意から、火事がお  
きてることがわかります。

## ① 羅臼町の消防施設

らうす まち かじ お みず つか  
羅臼の町には、どこで火事が起きてもすぐに水が使えるように、  
しょうかせん ぼうかすい そな  
消火栓や防火水そうなどが備えられています。

かじ しょうぼうじどうしゃ つか  
火事がおきたときは、どの消防自動車を使うか、  
じぜん き しゅつどう  
事前に決められているので、すぐに出動できます。

しょうかせん ふと すいどうかん いちど みず つか  
消火栓は、太い水道管につけられています。また、一度にたくさんの水を使  
うときや地震のときの火事に備えて、防火水そうも必要になります。消防施設  
はわかりやすいように「標識」が目印として立てられています。



がっこう ぼうか せつび  
学校の防火設備



しょうぼうしせつ てんけん  
ア 消防施設の点検

しょうぼうしょ しょうぼうだん ひと らうす まち まわ しょうかせん ぼうかようすい  
消防署や消防団の人たちは、羅臼の町を回って、消火栓や防火用水が、い  
つか けんさ  
つでも使えるように検査をしています。

ほか しょうぼうしゃ どう てんけん まち おお たてもの かてい ぼうかてんけん  
この他にも、消防車・サイレン等の点検や町の大きな建物・家庭の防火点検  
おこな  
を行っています。

らうすちよう しょうぼう  
② 羅臼町の消防のしくみ

つうしんしれい やくわり  
ア 通信指令の役割

かじ きゅうきゅう し かじ きゅうきゅう し  
火事や救急の知らせはすべてここにつながります。火事や救急の知らせ  
はい しょうぼうしよくいん しゅつどう  
が入ると、消防職員はすぐに出動します。



また、消火や救助の仕事がしやすいように警察・役場（水道）・電力会社・

病院などにも連絡します。

## イ 消火のしくみ

火事は、小さいうちに消して大きくしないことがとても大切です。消防署

は、命令を受けると、ただちに、火事の場所へ出動します。

消防車が火事の場所につくと、すばやく、消火栓に吸水管をつなぎ、消火

活動にあたります。場所によっては、防火水そうや川などから水を取ります。

### 消防団

団員は、普段は別な自分の仕事を持っていますが、火事の知らせがあると

仕事をやめてかけつけ、消火活動を行います。地域の人々を守る消防団員は、

それぞれの地域の火災予防にも協力しています。

### (3) 地震にそなえる…羅臼町防災ハザードマップ

●羅臼町防災ハザードマップ (URL・QRコード)



<https://www.rausu-town.jp/img/files/%E7%BE%85%E8%87%BC%E7%94%BA%E9%98%B2%E7%81%BD%E3%83%8F%E3%82%B6%E3%83%BC%E3%83%89%E3%83%9E%E3%83%83%E3%83%97.pdf>

## (4) 雪にそなえる

### ① 羅臼町と雪

北海道は日本全国で比べてみても雪が多く、気温も低い土地です。北海道の東端に位置している羅臼町も同じく、雪が多い地域です。雪が多い年には1回の積雪で1m以上も雪が積もることもあります。このように羅臼町に住んでいる私たちにとって、雪はとても身近なものです。

しかし、北海道全域で見ると令和3年11月から令和4年3月までに重傷・軽傷合わせて308人が雪によるけがを負っています。また、雪の事故によって29人が亡くなっています。

羅臼町では、近年大きな雪の事故は起きていませんが、それでも雪の危険は身近なところにかくれています。正しい知識を身につけ、雪の事故を防げるように努めましょう。

2022年2月の積雪の様子



## ②雪の事故

北海道では雪によってどのような事故が起きているのでしょうか。次の表

は令和3年11月から令和4年3月の雪による被害とその内訳です。

### 1 被害の状況

#### (1) 主な被害状況

振興局名	人的被害（人）			
	死者	行方不明	重傷	軽傷
空知総合振興局	8		33	52
石狩振興局	8		23	66
後志総合振興局	1		7	37
胆振総合振興局	1			2
日高振興局				
渡島総合振興局			1	1
檜山振興局				
上川総合振興局	6		16	34
留萌振興局	1		2	3
宗谷総合振興局	1		4	
オホーツク総合振興局	3		6	5
十勝総合振興局			4	7
釧路総合振興局			1	4
根室振興局				
計	29		97	211
死傷者合計	337			

#### (3) 被害の発生内訳

原因	件数	割合
屋根転落	99人	29.4%
はしご転落	58人	17.2%
落氷雪	59人	17.5%
除雪機	21人	6.2%
その他	100人	29.7%
計	337人	100.0%

令和4年4月『雪による被害状況(北海道)』

北海道庁HP 危機対策局危機対策課 災害・被害状況より

雪による事故の内訳を見ると、屋根やはしごからの転落が多く、それに続いて高所からの落雪・落氷に巻き込まれてけがをする事故が多くなっています。死亡事故の内容を見てもこれらの3つが原因の多くを占めています。特に除雪のために屋根に登ったり、屋根の下を通ったりするときに事故が起こりやすいようです。また、少数ながら除雪機による事故が起きていることもわかります。

### ③<sup>らうすちよう</sup> 羅白町の<sup>じよせつ</sup> 除雪

<sup>ゆき</sup> 雪が<sup>たくさん</sup> 降<sup>ふ</sup>っても、<sup>くるま</sup> 車<sup>ひと</sup> や<sup>い</sup> 人の<sup>き</sup> 行き<sup>と</sup> 来<sup>と</sup> が<sup>と</sup> 止<sup>と</sup> ま<sup>と</sup> ら<sup>と</sup> ない<sup>と</sup> よう<sup>と</sup> に<sup>らうすちよう</sup> 羅白町<sup>と</sup> では<sup>と</sup> す<sup>と</sup> ぐ<sup>と</sup> に<sup>じよせつ</sup> 除雪<sup>と</sup> が<sup>と</sup> でき<sup>と</sup> る<sup>と</sup> よう<sup>と</sup> に<sup>じゆんび</sup> 準備<sup>と</sup> を<sup>と</sup> し<sup>と</sup> て<sup>と</sup> います<sup>と</sup>。

<sup>ちようない</sup> 町<sup>じよせつ</sup> 内<sup>しやう</sup> には<sup>おおがた</sup> 除雪<sup>きかい</sup> の<sup>だいいじやう</sup> た<sup>ちやう</sup> め<sup>ちやう</sup> に<sup>ちやう</sup> 使<sup>ちやう</sup> 用<sup>ちやう</sup> でき<sup>ちやう</sup> る<sup>ちやう</sup> 大<sup>ちやう</sup> 型<sup>ちやう</sup> の<sup>ちやう</sup> 機<sup>ちやう</sup> 械<sup>ちやう</sup> が<sup>ちやう</sup> 50<sup>ちやう</sup> 台<sup>ちやう</sup> 以<sup>ちやう</sup> 上<sup>ちやう</sup> あ<sup>ちやう</sup> り<sup>ちやう</sup> ます<sup>ちやう</sup>。 町<sup>ちやう</sup> で<sup>ちやう</sup> は<sup>ちやう</sup> こ<sup>ちやう</sup> れ<sup>ちやう</sup> ら<sup>ちやう</sup> の<sup>ちやう</sup> 機<sup>ちやう</sup> 械<sup>ちやう</sup> を<sup>ちやう</sup> 持<sup>ちやう</sup> っ<sup>ちやう</sup> て<sup>ちやう</sup> いる<sup>ちやう</sup> 人<sup>ちやう</sup> や<sup>ちやう</sup> 企<sup>ちやう</sup> 業<sup>ちやう</sup> に<sup>ちやう</sup> 依<sup>ちやう</sup> 頼<sup>ちやう</sup> す<sup>ちやう</sup> る<sup>ちやう</sup> 形<sup>ちやう</sup> で<sup>ちやう</sup> 雪<sup>ちやう</sup> が<sup>ちやう</sup> 降<sup>ちやう</sup> っ<sup>ちやう</sup> て<sup>ちやう</sup> も<sup>ちやう</sup> す<sup>ちやう</sup> ぐ<sup>ちやう</sup> に<sup>ちやう</sup> 除<sup>ちやう</sup> 雪<sup>ちやう</sup> が<sup>ちやう</sup> でき<sup>ちやう</sup> る<sup>ちやう</sup> 体<sup>ちやう</sup> 制<sup>ちやう</sup> を<sup>ちやう</sup> 整<sup>ちやう</sup> え<sup>ちやう</sup> て<sup>ちやう</sup> います<sup>ちやう</sup>。

<sup>か</sup> 過<sup>こ</sup> 去<sup>ねんかん</sup> 10<sup>じよせつ</sup> 年<sup>しよせつ</sup> 間<sup>しよせつ</sup> で<sup>しよせつ</sup> 除<sup>しよせつ</sup> 雪<sup>しよせつ</sup> に<sup>しよせつ</sup> か<sup>しよせつ</sup> か<sup>しよせつ</sup> っ<sup>しよせつ</sup> た<sup>しよせつ</sup> 費<sup>しよせつ</sup> 用<sup>しよせつ</sup> を<sup>しよせつ</sup> 平<sup>しよせつ</sup> 均<sup>しよせつ</sup> す<sup>しよせつ</sup> る<sup>しよせつ</sup> と、<sup>しよせつ</sup> 年<sup>しよせつ</sup> 間<sup>しよせつ</sup> 約<sup>しよせつ</sup> 1<sup>しよせつ</sup> 億<sup>しよせつ</sup> 円<sup>しよせつ</sup> の<sup>しよせつ</sup> 費<sup>しよせつ</sup> 用<sup>しよせつ</sup> が<sup>しよせつ</sup> か<sup>しよせつ</sup> か<sup>しよせつ</sup> っ<sup>しよせつ</sup> て<sup>しよせつ</sup> います<sup>しよせつ</sup>。 又<sup>しよせつ</sup>、<sup>しよせつ</sup> 降<sup>しよせつ</sup> 雪<sup>しよせつ</sup> 量<sup>しよせつ</sup> の<sup>しよせつ</sup> 多<sup>しよせつ</sup> い<sup>しよせつ</sup> 年<sup>しよせつ</sup> に<sup>しよせつ</sup> は<sup>しよせつ</sup> こ<sup>しよせつ</sup> の<sup>しよせつ</sup> 費<sup>しよせつ</sup> 用<sup>しよせつ</sup> が<sup>しよせつ</sup> 2<sup>しよせつ</sup> 億<sup>しよせつ</sup> 円<sup>しよせつ</sup> を<sup>しよせつ</sup> 超<sup>しよせつ</sup> え<sup>しよせつ</sup> る<sup>しよせつ</sup> こ<sup>しよせつ</sup> と<sup>しよせつ</sup> も<sup>しよせつ</sup> あ<sup>しよせつ</sup> り<sup>しよせつ</sup> ます<sup>しよせつ</sup>。

<sup>ちやう</sup> 町<sup>ちやう</sup> の<sup>ちやう</sup> こ<sup>ちやう</sup> の<sup>ちやう</sup> よ<sup>ちやう</sup> う<sup>ちやう</sup> な<sup>ちやう</sup> 取<sup>ちやう</sup> 組<sup>ちやう</sup> の<sup>ちやう</sup> お<sup>ちやう</sup> か<sup>ちやう</sup> げ<sup>ちやう</sup> で、<sup>ちやう</sup> 雪<sup>ちやう</sup> が<sup>ちやう</sup> 多<sup>ちやう</sup> い<sup>ちやう</sup> 日<sup>ちやう</sup> で<sup>ちやう</sup> も<sup>ちやう</sup> 私<sup>ちやう</sup> たち<sup>ちやう</sup> は<sup>ちやう</sup> 道<sup>ちやう</sup> 路<sup>ちやう</sup> を<sup>ちやう</sup> 使<sup>ちやう</sup> っ<sup>ちやう</sup> て<sup>ちやう</sup> 出<sup>ちやう</sup> かけ<sup>ちやう</sup> る<sup>ちやう</sup> こ<sup>ちやう</sup> と<sup>ちやう</sup> が<sup>ちやう</sup> でき<sup>ちやう</sup> る<sup>ちやう</sup> の<sup>ちやう</sup> です<sup>ちやう</sup>。



<sup>らうすちやうない</sup> 羅白町<sup>じよせつ</sup> 内<sup>しよせつ</sup> の<sup>しよせつ</sup> 除<sup>しよせつ</sup> 雪<sup>しよせつ</sup> 作<sup>しよせつ</sup> 業<sup>しよせつ</sup> の<sup>しよせつ</sup> 様<sup>しよせつ</sup> 子<sup>しよせつ</sup>

## 6 健康なくらしとまちづくり

### (1) ごみはどこへ

#### ①ごみのゆくえ

教室から出るごみには、紙くず、おれたえん筆、ティッシュペーパーなど、いろいろな種類のごみがあります。学校中のごみを合わせると、大変な量になります。



また、家からも食べ残しや野菜のくず、ペットボトルやあきかんなど、たくさんのごみが出ます。

羅臼町では、町の収集車が燃えるごみと燃えないごみに分けて、集めにきていましたが、過去には自分の家でごみを焼く家庭もありました。しかし、ごみの量や種類が増えたことや、地球環境を守る考え方が広まり、羅臼町のごみ処理の仕方も変わってきました。

#### ②ごみの収集の様子を調べよう

羅臼町では、ごみは決められたふくろに入れて、住んでいる家の前に出すことになっています。



ごみを収集する係の人は、3人でやっています。そして、収集車から2人がおると、家の前におかれているふくろを、すばやく収集車に投げこんでいきます。

ごみ収集は、地域ごとに回数や曜日が決まっています、まわる道順や時刻を決めて、計画的に集めています。学校や家から集められたごみは、町の清掃センターへ運ばれます。

ごみを道路、公園、海、山、あき地などに、勝手にすてることは禁止されています。また、家で勝手に燃やしたりしてはいけないきまりになっています。



羅臼町清掃センター

### ③清掃センター

#### ア 清掃センターのようす

羅臼町では、2002年（平成14年）に分別収集を開始し、現在は12種類のごみに分別して処理しています。集められたごみは、いったん幌萌町にある清掃センターに運ばれます。清掃センターに集められたごみは、ごみの種類ごとに分けられ、それぞれ処理する施設へ運ばれます。

#### イ 燃やせるごみのゆくえ

以前は、燃やせるごみを清掃センターで燃やして処理していました。しかし、ごみを燃やすことで発生するダイオキシンが人体に有害であることがわかり、2002年（平成14年）に全国でダイオキシンの規制が強化されました。そのため、羅臼町でもごみの焼却施設の運転が停止となりました。その後、2006年（平成18年）に、別海町、中標津町、標津町、羅臼町の4町が共同で処理

する「<sup>ねむろほくぶこういき</sup>根室北部広域<sup>しよりしせつ</sup>ごみ処理施設」が<sup>べっかいちよう</sup>別海町に<sup>けんせつ</sup>建設され、<sup>しようきやくしより</sup>ふたたび焼却処理

ができるようになりました。ここでは、ごみを

<sup>こうおん</sup>高温で<sup>も</sup>燃やすので、<sup>ゆうがい</sup>ダイオキシンなどの有害なも

のが<sup>はっせい</sup>発生しにくく、<sup>あんぜん</sup>安全に<sup>しより</sup>処理できるようになり

ました。



## ウ <sup>しげん</sup>資源ごみのゆくえ

<sup>しげん</sup>資源ごみのペットボトル・びん・かんなどは、<sup>せいそう</sup>清掃センターで<sup>こま</sup>細かく<sup>ぶんべつ</sup>分別されます。

<sup>あつ</sup>集められたペットボトルやプラスチックは、ラベルやふたをはずしたり、よ  
ごれがひどいものなどを取りのぞいたりします。びんは、<sup>さいしよう</sup>再使用する（<sup>せんじよう</sup>洗浄す  
るなどしてもう一度使う）もの<sup>いちどつか</sup>とリサイクルする（<sup>げんりよう</sup>いったん原料にもどした  
<sup>あと</sup>後、<sup>あら</sup>新たな<sup>せいひん</sup>製品をつく<sup>わ</sup>ものに分けられます。

このように<sup>こま</sup>細かく<sup>ぶんべつ</sup>分別された<sup>あと</sup>後、<sup>なかしべつちよう</sup>中標津町にあるリサイクルセンターへ<sup>はこ</sup>運ば  
れます。

かんは、ベルトコンベアーで<sup>はこ</sup>運ばれ、<sup>かかり</sup>係の人が<sup>ひと</sup>スチールかんとアルミかん  
に<sup>ぶんべつ</sup>分別します。それぞれ<sup>あつしゆく</sup>圧縮し（<sup>ちい</sup>おしつけて<sup>てつ</sup>小さくすること）、<sup>かいしゆう</sup>鉄くずの回収  
<sup>ぎようしゃ</sup>業者へ<sup>う</sup>売られていきます。

<sup>かてい</sup>家庭から<sup>で</sup>出る<sup>はいしよくゆ</sup>廃食油や<sup>だん</sup>段ボール、<sup>しんぶんし</sup>新聞紙も、<sup>あつ</sup>集められた<sup>あと</sup>後、それぞれの<sup>かいしゆう</sup>回収

業者へ売りはられています。

生ごみは、峯浜町にあるたい肥化処理施設に運ばれ、たい肥として再利用されます。

## エ 粗大ごみのゆくえ

粗大ごみは、清掃センターに集められたあと、最終処分場へ運ばれます。

また、ごみを燃やした後の灰もここへ運ばれ、埋め立て処分されます。

## ④これからのごみのしまつ

学校や家庭から1日にどのくらいの量のごみが出されるでしょう。

羅臼町全体では、令和元年時点で1日あたり約6.3t、1年間では約2,300tも

のごみが出ます。

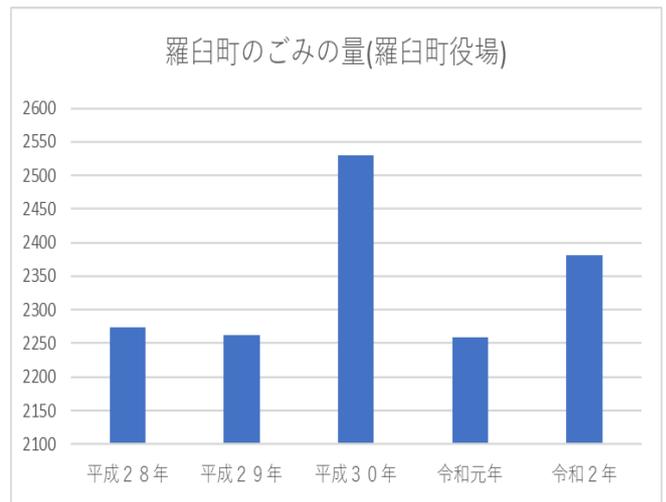
一人が1日です出すゴミの量は、約

1.2kgです。これは1年間で438kgに

もなります。羅臼町のごみの量は減っ

たり増えたりしていますが、少しずつ減

っています。



これからの環境のことを考えると、さらに減らしていかなくてはなりません。

私たち一人一人には、ごみを減らす努力が必要です。物を大切に使い、で

きるだけごみにしないように工夫し、ごみの分別を行い、リサイクルできる資源にすることが大切です。

また、ごみを決められた日に、決められたふくろに入れて出すなど、約束を守ることや、家の周りが汚れていたら、進んで清掃することなども大切です。こうして、町のみんなが気を付け、力を出し合うことで、健康・安全で美しい町にいらしていくことができるようになります。

## (2) 暮らしと水

### ① 家庭や学校での水の利用

羅臼は昔から、小さい沢やがけなどから自然にわき出て流れおちる水を水おけなどにため、そこからホースなどでひいて、飲み水にしていました。今では水道のじゃ口をひねると、すぐにきれいな水がたくさん出てきます。わたしたちの家で使う水の量は、人数や使い方によって違いがありますが、4人家族が1日に使う水の量は、およそ1,000L（1.5Lのペットボトルが667本分）にもなっています。

学校でも、飲み水、そうじ、手洗い、トイレなど、たくさんの水を使っています。



## ② 水はどこから

わたしたちの学校で使っている水は羅臼岳を源流とする羅臼川から取り入れ、湯の沢浄水場できれいな水にされ、そこから水道管を通して幌萌町から海岸町へ送られ、わたしたちの学校や家庭に届きます。ちなみに峯浜町は峯浜浄水場、岬町は岬浄水場から水が送られます。



湯の沢浄水場



峯浜浄水場



岬浄水場

## ③ 浄水場（湯の沢）の様子

川から取り入れた水は、砂やよごれ（ばいきん）などが入っていることがあるので、そのまま飲むことができません。

浄水場は、よごれた水をみんなが安心して飲めるようにきれいにするところです。



浄水場の中には、いろいろな池があり、

薬を使って消毒する装置など、たくさんの設備が整えられています。こう

してきれいにされた水は、水道管を通して学校や家庭などに送られます。麻布

町と春日町には一度八木浜配水池に届けられてから幌萌町へ、栄町高台は

一度ポンプ場に届けられてから、みなさんのもとへ届けられています。

#### ④これからのわたしたちの生活と水

水はわたしたちの生活にとって、欠かすことのできないものです。ですから、大切に使わなければなりません。無駄に水を流したままにしたり、必要以上に水を出したりすることのないようにしなければなりません。わたしたちは大事な資源である水を使うにあたって、節水に努めることが大切です。

#### ⑤使った水のゆくえ

わたしたちの学校や家庭、その他いろいろな場所でたくさんの水が使われています。

お風呂の水、洗濯で使った水、食器を洗った水、米をといた水など、よごれた水をそのまま流してしまうと、川や海がよごれてしまい、わたしたちの生活や自然の中ですむ生き物にさまざまな悪い影響を与えてしまいます。

そこで、羅臼町では川や海によごれた水を流さないように合併処理浄化槽を建物に設置しています。合併処理浄化槽を

設置することで、よごれた水をきれいにし、安心して生活排水を流すことができます。また、きれいな水を流すことで身近な排水路などがきれいになり、地域の川の水量も確保することができます。



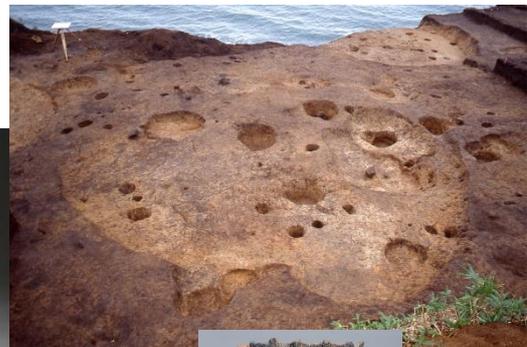
地下に設置された合併処理浄化槽

## 7 羅臼町のはじまり

### (1) 大昔の羅臼

その昔、羅臼は、うっそうとした原始林におおわれ、夏でも雪のある知床山脈から流れ出るきれいな水が、大小の滝となり、川となって海にそそいでいました。

山や沢には、クマやシカなどが歩きまわり、鳥が飛び、川にはサケ・マスが群れになってのぼりました。海からは、魚や昆布などがたくさん獲れ、人々は、河口に住み始めました。



上の写真は、羅臼の松法川北岸やオタフク岩の上で発見された昔の人々の道具や住居のあとです。土器と呼ばれる器も町内で多く発見されています。

### (2) 江戸時代の羅臼

江戸時代になると、えぞ地（北海道）を松前藩が治めるようになりました。

まつまえはん きろく ねん ちほう ひと  
松前藩の記録には、1615年に、メナシ地方に住んでいたアイヌの人たちが、  
けがわ まつまえはん もの はん え ど ばくふ  
ラッコの毛皮を松前藩にみつぎ物としておくり、藩はこれを江戸幕府にさしあ  
げたことが書かれています。

まつまえはん ひと こうかん もの う はん かね  
松前藩は、アイヌの人たちと交換した物を売って、藩のお金をつくっていま  
した。

はじめのうちは、アイヌの人たちが、交換する品物を持って、松前にやって  
きていました。しかし、そののち、いくつかの交易する場所を設けるようにな  
りました。らうす ねん みねはまちよう しゅっちょうばんや  
羅臼には、1804年ころ、オルマップ（峯浜町）に出張番屋があ  
りました。アイヌの人たちは、オルマップ、シュンカリコタン、マッカウス、  
チトライ、サシルイ、ルサなどに住んでいて、この番屋にきて働きました。

ねん ち だいぶぶん ばくふ おさ  
1854年から、えぞ地の大部分を幕府が治めるようにな  
るとまつうらたけしろう ばくふ やくにん ねん ねむろ  
松浦武四郎は、幕府の役人として、1858年、根室から  
かいがん らうす ほくじょう しれとこみさき しゃり む  
海岸づたいに羅臼を北上して知床岬をまわり、斜里へ向  
かいました。このとき、オルマップに住んでいたウエンベ  
ツ ぜん ちょう アイヨフキに、いろいろな話を聞いたり、案内し  
てもらったりして、日誌を書き、のちに『知床日誌』とし



ばくふ だ しれとこにっし え ど じ だ い お  
て幕府へさし出しました。この知床日誌によると、江戸時代の終わりごろには、  
ウエンベツ（オルマップ）・リクシベツ・タツカリウス・チニシベツ・チトライ  
ばんや  
に番屋があったそうです。また、オルマップにはアイヌの人たちの家が13軒

(55人)、知床岬（斜里側）には8軒（8人）あったそうです。また、羅臼各地の地名などについても知ることができます。

### （3）明治以降の羅臼

多くの人々が羅臼に住むようになったのは、明治の初めごろです。江戸時代は、サケ・マスなど魚のくる時期だけ獲りにきて、冬になると引きあげる人がほとんどでした。一番最初に羅臼に住みついたのは、1869年（明治2年）に漁場請負人の責任者としてきた佐藤久右衛門とされています。

### （4）村の誕生

その後、東北地方からの移住者も多くなり、新しい漁場が開かれました。それまでサケとマスだけでしたが、1888年（明治21年）ごろには、タラ・オヒョウも獲りはじめました。このころ越中地方（今の富山県）から多くの人々がきて住みつくようになりました。

たくさんの人が集まり、郵便局・寺・神社・学校などもできて、1901年（明治34年）に、植別村として独立しました。羅臼村となったのは1930年（昭和5年）です。その後、1961年（昭和36年）に羅臼町へと移り変わりました。

この写真は明治時代のニシ

ン漁場の様子です。かまどか

ら白煙が上がって漁場の忙

しい様子が伝わってきます。

現在の松法町あたりを撮影し

たものです。



この写真も明治時代に撮影さ

れたものです。本町から羅臼橋

(赤橋)に向かって道が続いて

いるのがわかります。

## (5) 羅臼の発展

西井賢誠という人が今の本町に寺子屋を開いたのが学校のはじまりです。

1893年(明治26年)のことでした。児童は十数名で、主に読み書き・算術

(算数)を教えていました。

次の年に、父母からの寄付を集めて羅臼寺子屋が完成しました。その後、児童

が増え公立学校ができるのです。それが今の羅臼小学校です。

にしいけんせい いしかわけんの とし かうら ふきょう むら ひと そうだん  
西井賢誠さんは、石川県能登志加浦の人です。布教にきて村の人たちと相談  
かり せつきょうじよ つく しんじゃ ふ ねん めいじ ねん  
し、仮の説教所を作りました。しだいに信者も増え、1896年（明治29年）に  
どう た てら じょうどしんしゅうおおたには じょうたいじ  
お堂を建てました。これがお寺のはじまりです。浄土真宗大谷派の誠諦寺で  
にしいけんせい てらこや ひら  
す。西井賢誠さんが、ここで寺子屋も開いたのです。

ねん めいじ ねん にちれんしゅう てら いま ほんかくじ  
1909年（明治42年）には、日蓮宗のお寺ができました。これが今の本覚寺  
です。



誠諦寺



本覚寺

ねん ぶんせい ねん いま みねはまちょう うえべつじんじゃ ご あざぶ  
1822年（文政5年）に、今の峯浜町に植別神社ができました。その後、麻布  
ちょう さんじゃじんじゃ らうす らうすじんじゃ ちしやうちょう ちしやこんびらじんじゃ みさきちやう ちえん  
町に三社神社・羅臼に羅臼神社・知昭町に知昭金比羅神社・岬町に知円  
べつじんじゃ かいがんちやう じんじゃ  
別神社・海岸町にトビニタイ神社ができました。

いしゃ じだい びやうき ねむろ びやういん い  
お医者さんがいなかった時代は、病気になると根室の病院まで行かなけれ  
ばなりませんでした。こうつうじじやう わる やくそう くま い とやま お ぐすり  
でがまんする人が多く、重病の時は、船で7時間もかかる根室に向かったそ  
うです。

ねん めいじ ねん しゅんかりこたん かわかみまたきち やまぐち せつ  
1897年（明治30年）ころ、春刈古丹に川上又吉（山口という説もあります）  
いしゃ すうにん こども あつ てらこやしき きやういく  
という医者が出て、数人の子供を集めて寺子屋式の教育をしています。これが  
しゅんしょうしょうがっこう  
春松小学校へとつながります。

1900年(明治33年)に山内英治という初代の村医がきました。村の人々は、  
医者がきたことをとても喜びました。村の人々は、人間の命を守る医者を  
大切にし、医者も治療ばかりでなく、村の人々の相談役にもなっていたそうで  
す。

羅臼川の清い流れにそって約3kmほど上流へいくと、温泉がいたるところからわき出ています。

はじめは露天風呂でしたが、1888年(明治21年)に温泉宿がつくられ村人が  
利用するようになりました。この温泉がたいへん温度が高く、塩類泉で様々  
な病気にきくとされていました。羅臼には羅臼温泉の他に、セセキ温泉と相  
泊温泉があります。ともに1899年(明治32年)に発見されています。

1913年(大正2年)、ランプの不始末で羅臼郵便局が焼けてしまいました。  
そのころは、火を出せば丸焼けがふつうでした。そこで人々は長川万五郎さん  
を中心に話し合い、火災予防組合をつくりました。これが羅臼の消防のはじ  
まりです。

## (6) 羅臼の漁業

羅臼の海岸約60kmの漁場は、1876年(明治9年)から「場所請負制度」  
がなくなり、多くの人が漁業の権利を持つことができるようになりました。  
中でも本州方面からきた人々は、漁のある夏の間だけ羅臼に住み、冬になる

と帰<sup>かえ</sup>っていくという生活<sup>せいかつ</sup>でした。羅白<sup>らうす</sup>で獲<sup>と</sup>れる魚<sup>さかな</sup>は、タラ・スケトウダラ・サケ・マスが中<sup>ちゅうしん</sup>心<sup>しん</sup>でした。タラ・スケトウダラはひらき加工<sup>かこう</sup>、サケ・マスは塩<sup>しお</sup>づけにして、根室<sup>ねむろ</sup>を通<sup>つう</sup>じ、函館<sup>はこだて</sup>まで船<sup>ふね</sup>で送<sup>おく</sup>っていました。

1892年<sup>ねん</sup>（明治<sup>めいじ</sup>25年<sup>ねん</sup>）に羅白川<sup>らうすがわ</sup>の河口<sup>かこう</sup>から 1,800m の上流<sup>じょうりゅう</sup>に、サケのふ化場<sup>かじょう</sup>をつくることになりました。そのころ、サケが目立<sup>めだ</sup>って減<sup>へ</sup>ってきたので、人工<sup>じんこう</sup>養殖<sup>ようしょく</sup>を行<sup>おこな</sup>うことになったのです。この年にサケの卵<sup>たまご</sup> 300万粒<sup>まんつぶ</sup>のふ化<sup>か</sup>ができるふ化場<sup>かじょう</sup>が完成<sup>かんせい</sup>しました。その後<sup>ご</sup>、700万粒<sup>まんつぶ</sup>のふ化<sup>か</sup>ができるようになりました。

また、カレイ・ソイなどの雑魚<sup>ざつぎよ</sup>を保護<sup>ほご</sup>するため、サシルイ・植別<sup>うえべつ</sup>・知円別<sup>ちえんべつ</sup>に魚付林<sup>うおつけりん</sup>と昆布礁<sup>こんぷしょう</sup>（魚<sup>さかな</sup>のすみか）をつくりました。

1911年<sup>ねん</sup>（明治<sup>めいじ</sup>44年<sup>ねん</sup>）には、植別村漁業協同組合<sup>うえべつむらぎぎょうきょうどうくみあい</sup>ができ、漁業<sup>ぎょぎょう</sup>を経営<sup>けいえい</sup>している人々<sup>ひとびと</sup>が協<sup>きょう</sup>力<sup>りよく</sup>して仕事<sup>しごと</sup>をしていくようになりました。



左<sup>ひだり</sup>の写真<sup>しゃしん</sup>は、植別村漁業協同組合<sup>うえべつむらぎぎょうきょうどうくみあい</sup>の様子<sup>ようす</sup>です。組合長<sup>くみあいちょう</sup>は四十物<sup>あいのもの</sup>武助<sup>ぶすけ</sup>さんが務<sup>つと</sup>め、組合員<sup>くみあいいん</sup>は 120名<sup>めい</sup>だったそうです。

1912年<sup>ねん</sup>（明治<sup>めいじ</sup>45年<sup>ねん</sup>）ころから、昆布<sup>こんぷ</sup>とニシン<sup>と</sup>を獲<sup>と</sup>るようになりました。昆布<sup>こんぷ</sup>は仏教<sup>ぶつぎょう</sup>の精進料理<sup>しょうじんりょうり</sup>の材料<sup>ざいりょう</sup>として売<sup>う</sup>れるだろうということから獲<sup>と</sup>りはじめたそうです。はじめ、3~4隻<sup>せき</sup>でしか

と獲っていませんでしたが、1914年（大正3年）ころから、根室の仲買人が昆布をかうようになり、獲る人が増えはじめました。



ひだり しゃしん しょうわ ねん こんぶ ほ ようす  
左の写真は、昭和30年ころの昆布干しの様子  
です。いちめん ひろ こんぶ ほ ふうけい げんざい  
一面に広がる昆布干しの風景は、現在も  
らうす なつ ふうぶつし  
羅臼の夏の風物詩です。

ニシンは、3月～4月ころから、流水の合間を  
み じ び あみ と あぶら さかな  
見て地引き網で獲り、油や魚かすにしました。

ニシンを魚かすにするときには、下の写真のような道具を使っていたそうです。



イカも昔から獲れ、1956・7年（昭和31・2年）ころには、秋になると何  
びやくせき ぶね らうす うみ だ しゅうぎょう うみ だい  
百隻というイカ船が羅臼の海にくり出し、集魚灯のあかりで海のおこうに大  
とかい  
都会でもできたかのようにぎわいでした。町の中では、スルメを作るため、  
「イカすだれ」がいたるところで見られました。

「イカすだれ」の様子です。町中で写真のようなイカ干しを行っていたそうです。



## (7) 羅臼の農業

平らな土地がほとんどない羅臼では、大規模な農業を行うのには難しい場所だったようです。わずかな平地を見つけて自家用の「ダイコン」「ジャガイモ」を作っていました。

1911年(明治44年)に農家として記録されているのは、わずか4戸で馬の飼育が中心でした。戦後になって少しずつ増え、1953年(昭和28年)までに、陸志別に35戸が入植をし、畑作に力を入れました。その後、馬を中心に、羊・豚・にわとりなどを飼うようになりました。1956年(昭和31年)ころから、乳牛中心の酪農へと大きく変わっていきました。

## (8) 羅臼の交通と通信

1911年(明治44年)ころには、羅臼から標津までは道路がついていたと古い本に書かれています。乗り物といっても馬車や馬そりぐらいで、長い道を歩くことが多かったようです。歩くにしても、今のような靴などはなく、主にわらじをはいて歩いていました。わらじはすり切れやすいため、何足ももち、はきかえながら歩いていたそうです。羅臼から標津へ行くのにも、往復に3日も4日もかかったということです。まがりくねった山道やがけづたいの坂道が多く、今よりずっと距離が長かったためです。はきものは、わらじの他、オヒョウやトドの皮で「ケリ」という靴を作っていた人もおり、大正時代には、それが宝物のようにあつかわれていたようです。この他にも、冬にはわらで作った「つまご」などもはきました。

1902年(明治34年)6月1日、羅臼の郵便所がおかれ、馬を使って荷物や郵便物や人を運びました。また、旅行者の宿泊所にもなっていました。

道路は羅臼から春刈古丹(今の春日町)・標津・別海をへて根室へと通じていました。1929年(昭和4年)からは、羅臼と標津の間に5~6人乗りの定期自動車(バス)が走るようになりました。



かいろう こまわ はんせん きせん ていきせん らうす ねむろ あいだ  
海路では、小廻しとって、帆船や汽船が定期船として羅臼と根室の間を  
おうふく どうじ くなしりとう ていきせん かよ  
往復していました。当時は国後島にも定期船が通っていました。

ねん めいじ ねん らうすゆうびんきょく ゆうびんろせん ねむろ  
1894年（明治27年）、羅臼郵便局ができました。郵便路線として根室から  
りくせん かいせん りくせん べっかい しべつ くんべつ らうす たつ  
陸線と海線があり、陸線は、別海・標津・薫別をへて羅臼に達するもの、これ  
まいにちはちやく かいせん ねむろ らうすかん ていきせん がつ  
が毎日発着していました。海線は、根室と羅臼間に定期船があり、これは4月  
かい がつ がつ つき かい はちやく ほかふ ていきせん  
1回、5月から11月までは月3回の発着、この他不定期船によるものもあり  
ました。これらの郵便物は、植別は薫別局で集配し、春刈古丹は羅臼局で  
しゅうはい  
集配していました。

でんわ らうす かいつう ねん しょうわ ねん いま ちが こうつう  
電話が羅臼に開通したのは、1929年（昭和4年）のことです。今と違って交通  
ふべん じだい てがみ どうちゃく にっすう い  
が不便な時代ですから、手紙などの到着はずいぶんと日数がかかったと言わ  
れています。

## (9) 明治・大正・昭和のころの生活

めいじじだい こども きもの き  
明治時代には、ほとんどの子供が着物を着て、げたやぞうりをはいていまし  
た。その後、洋服（学生服）やゴム靴が見られるようになりましたが、寒い冬  
には「しもやけ」や「あかぎれ」がたえなかったものです。

た もの ふね ねむろ はこ こめ むぎ  
食べ物のほとんどは、船で根室から運ばれてきました。米・麦・みそ・しょ  
ゆ しお ていきせん かもつせん はこ ふゆ ゆき やまみち とお  
う油・塩などを定期船や貨物船で運んできたものです。冬は雪で山道も通れな  
くなり、海は流氷で船が通うことができなくなるため、半年分もの食料を

か  
買いだめしておかなければなりませんでした。

ふね かよ じ き とき なんにち ふね きし ちか  
船が通える時期でも、時にはしけのため、何日も船が岸に近よれず、やむな  
くひ かえ なんと た もの ふそく  
く引き返すということが何度もありました。そのために食べ物不足して、お  
かゆでいのち とお しべつ ある しょくりょう か い  
かゆで命をつないだり、遠く標津まで歩いて食料を買いに行ったりしたこ  
ともありました。

い え や ね かべ くさ つく ほ た ご や ねん めいじ  
そのころの家は屋根も壁も草で作った掘っ立て小屋でした。1894年（明治  
ねん ねん まさや ね い え とし ふ ねん  
27年）ころになって桎屋根の家ができ、年ごとに増えていきました。1912年  
めいじ ねん ねん  
（明治45年）には、ほとんど木造の桎屋根の家になりました。



さいきん み  
最近ではほとんど見ら  
れなくなりましたが、や ね  
屋根  
うえ いし  
の上にくつもの石をつ  
みあげて、かぜ  
みあげて、風でとばされる  
のをふせぐいえ  
のをふせぐ家がたくさん  
ありました。

むかし いえ まど ちい くら いえ おお て  
昔の家は窓も小さく、暗い家が多かったようです。また、ストーブなどが出  
まわるようになるまでは、「いろり」で火をたき、ごはんをたいたり、あたた  
たりしました。そのため、いえ なか  
たりました。そのため、家の中がすすけたものです。

にゅうしょくとうじ ま  
入植当時は、カンテラやあんどんをあかりにしていました。しかし間もな

く石油を使うランプに変わりましたが、かなり暗かったので、あみのつくろいなどの仕事は大変だったようです。1931年（昭和6年）に羅白水力電気株式会社ができ、はじめて電灯がとりました。

1932年（昭和7年）になって、春刈古丹から共同地（共栄町）まで電気がつき、45戸が明るい電灯のもとで生活ができるようになりました。知円別方面などは1950年（昭和25年）ころまで、ランプの生活が続きました。しかし、1952年（昭和27年）になってようやく全戸に電灯がともるようになったのです。



上の写真は、昭和24年ごろの羅白の様子です。今のどのあたりから撮影した写真か調べてみましょう。

(10) <sup>しら</sup>調べてみよう～<sup>めいじ</sup>明治・<sup>たいしょう</sup>大正・<sup>しょうわじだい</sup>昭和時代の<sup>どうぐ</sup>道具

<sup>むかし</sup>昔の<sup>ひとびと</sup>人々は、<sup>せいかつ</sup>生活の中で<sup>なか</sup>たくさんの<sup>どうぐ</sup>道具を<sup>しょう</sup>使用していました。

<sup>いま</sup>今、<sup>つか</sup>みなさんが<sup>ちが</sup>使っている<sup>しら</sup>道具との<sup>ちが</sup>違いを<sup>しら</sup>調べてみましょう。



<sup>げんざい</sup>現在にも<sup>でんとうぎょうじ</sup>つながる<sup>じんじゃさい</sup>伝統行事～<sup>じんじゃさい</sup>神社祭～



<sup>ねん</sup>1935年（<sup>しょうわ</sup>昭和10年）<sup>ねん</sup>ころの<sup>じんじゃさい</sup>神社祭の<sup>ようす</sup>様子